

まちづくり市民意識調査
調査結果報告書

平成27年5月

明石市

目 次

I 調査の概要	P. 1
II 回答者の属性（問1）.....	P. 2
III 調査の結果.....	P. 4
1) 明石のまちへの思いと子どもに関する意識について（問2）.....	P. 4
2) 今後の明石のまちづくりについて（問3）	P. 22
3) 市民の皆さまの意識や行動について（問4）	P. 25
4) 今後のまちづくりに関するご意見・ご提案について（問5）.....	P. 39

I 調査の概要

1. 調査の目的

明石市第5次長期総合計画に掲げる目指すまちの姿「ひと まち ゆたかに育つ 未来安心都市・明石」の実現に向け、本市全体のまちづくりの進捗状況を把握し、さまざまな分野における今後の施策展開に生かしていくため、明石のまちへの思いや市が進めている施策等に対する満足度、各分野における市民の意識や行動等についての調査を行った。

2. 調査の内容

- (1) 回答者の属性について
- (2) 明石のまちへの思いと子どもに関する意識について
- (3) 今後の明石のまちづくりについて
- (4) 市民の皆さまの意識や行動について
- (5) 今後のまちづくりに関するご意見・ご提案について

3. 調査の方法等

- (1) 調査対象 18歳以上の市民5,000人（住民基本台帳から単純無作為抽出）
- (2) 調査の実施方法 郵送調査
- (3) 調査の実施期間 平成27年2月6日（金）発送、平成27年3月4日（水）投函締め切り

4. 回収結果

配布数：5,000人、 回答数：2,642人、 回収率：52.8%

【参考】 前回（H24.3～4月実施）回収結果

配布数：5,000人、 回答数：2,672人、 回収率：53.4%

※アンケート調査結果集計時の留意事項

- ・設問ごとの有効回答数は「n=○」と表示しており、回答比率はこれを100%として算出している。
- ・本報告書の数表における比率は百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答の設問については、選択肢ごとに回答比率を算出しており、回答比率を合計しても100%にならない。

Ⅱ 回答者の属性（問1）

回答者の性別は、「女性」が57.2%、「男性」が41.9%であった（図1-1参照）。

回答者の年齢は、「60歳代」が最も多く20.7%、次いで「70歳代」が17.3%、「40歳代」が17.1%であった（図1-2参照）。なお、市の実際の人口の年齢構成比と比較すると、50歳代から70歳代までの回答割合が高く、40歳代以下は低かった（表1-1参照）。

回答者の職業は、「無職」が最も多く27.5%、次いで「会社勤務」が26.8%、「家事従事者」が14.7%、「パート・アルバイト」が13.8%と続いた（図1-3参照）。なお、通勤・通学場所は、「通勤・通学していない」が40.2%で最も多く、次いで「明石市内」が19.8%、「神戸市内」が17.6%であった（図1-4参照）。

回答者の世帯構成は、「親と子の世帯（2世代）」が最も多く50.8%、次いで「夫婦だけの世帯」が29.4%、「ひとり世帯」が10.9%であった（図1-5参照）。なお、結婚している人の割合は、「している」が74.1%であり、世帯に子どもがいる割合は、「（子どもは）いない」が最も多く58.4%、次いで「乳幼児（小学校就学前の子ども）」が11.7%、「小学生」が11.2%であった（図1-6参照）。

回答者の居住年数は、「30年以上」が最も多く47.3%、次いで「20年～30年未満」が18.1%、「10年～20年未満」が16.3%、「1年～5年未満」が8.2%であった（図1-7参照）。また、住まいの形態は、「一戸建て（持ち家）」が最も多く56.1%、次いで「分譲マンション（持ち家）」が23.4%、「民間借家」が12.3%であった（図1-8参照）。

図1-1 回答者の性別

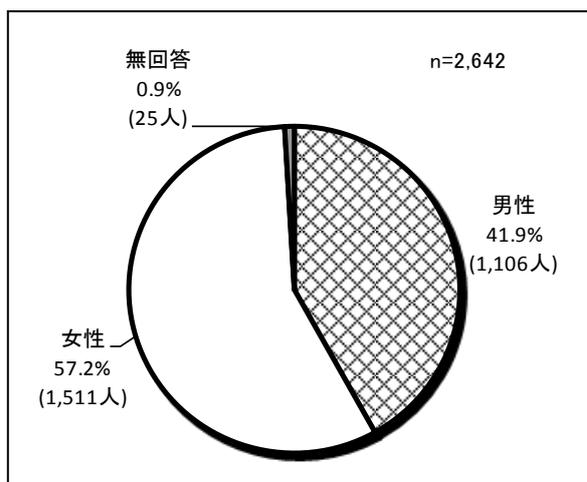


図1-2 回答者の年齢

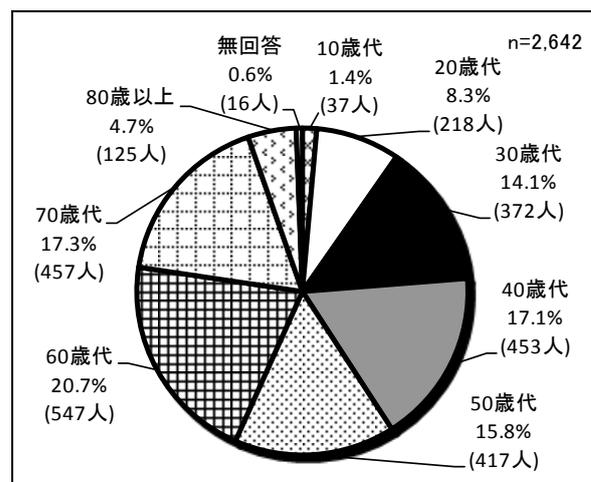


表1-1 回答者の年齢構成と市全体の年齢構成の比率

	回答者 (①)	明石市人口 (②)	差分 (①-②)
10歳代 (18歳以上)	1.4%	2.4%	-1.0%
20歳代	8.3%	12.4%	-4.1%
30歳代	14.1%	15.6%	-1.5%
40歳代	17.1%	18.5%	-1.4%
50歳代	15.8%	14.1%	1.7%
60歳代	20.7%	16.6%	4.1%
70歳代	17.3%	13.1%	4.2%
80歳以上	4.7%	7.4%	-2.7%
無回答	0.6%	-	-
対象者総数	2,642人	247,962人	

※明石市人口は、住民基本台帳人口（H27.1.1現在）。

図1-3 回答者の職業

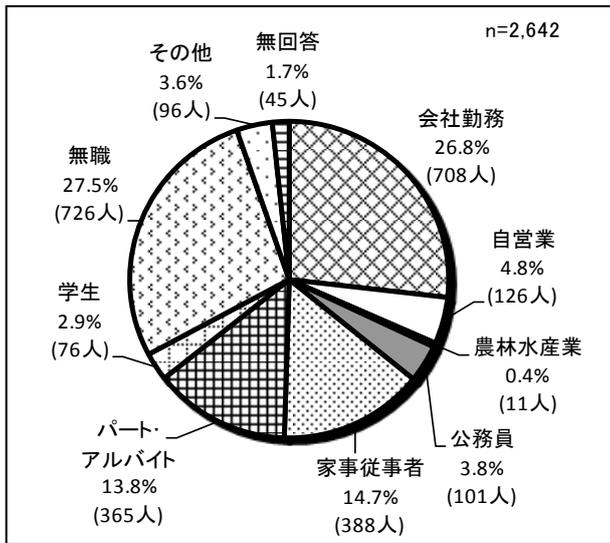


図1-4 回答者の通勤・通学場所

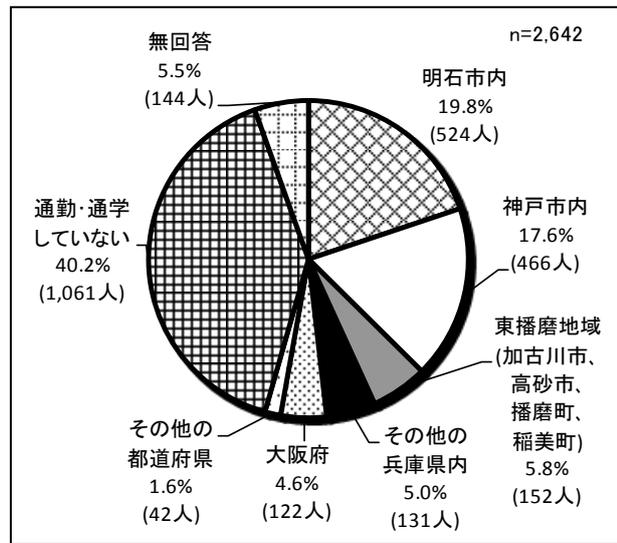


図1-5 回答者の世帯構成

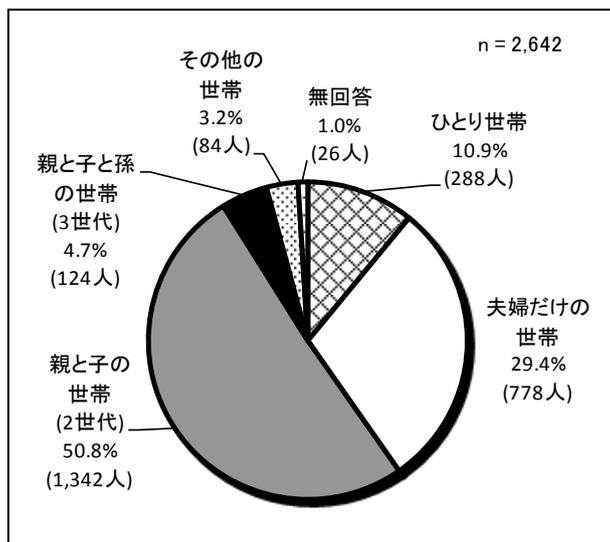


図1-6 回答者の世帯の子どもの有無 (複数回答)

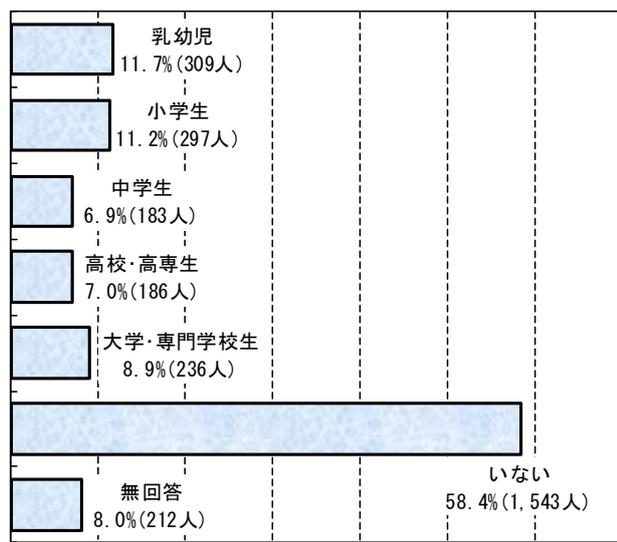


図1-7 回答者の居住年数

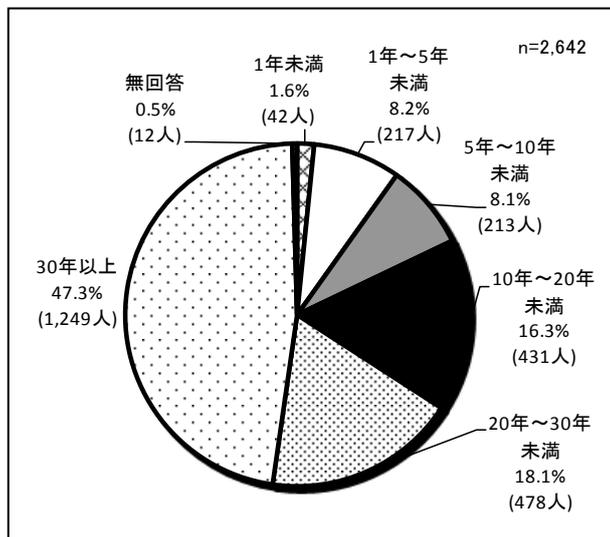
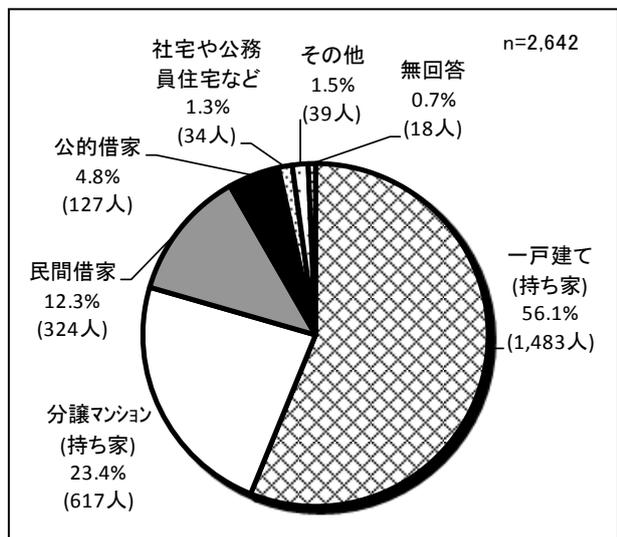


図1-8 回答者の住宅所有形態



Ⅲ 調査の結果

1) 明石のまちへの思いと子どもに関する意識について (問2)

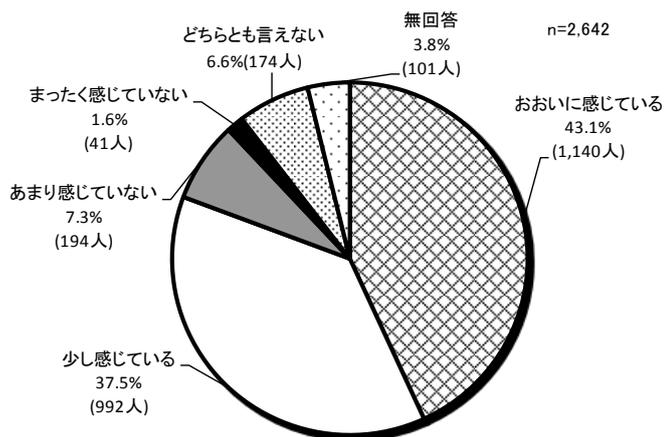
1. 調査目的

まちづくりの進捗状況及び少子高齢化社会等に対する市民意識を把握するため、明石のまちへの思いと子どもに関する意識について調査を行った。

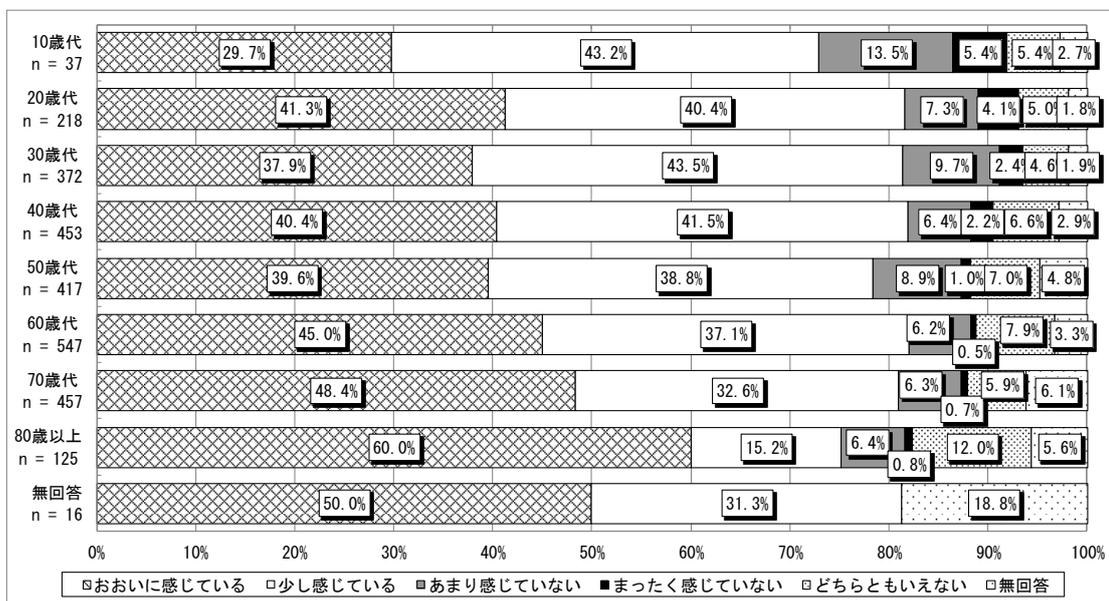
2. 各設問の集計結果

問2-1. 明石のまちに愛着を感じていますか？

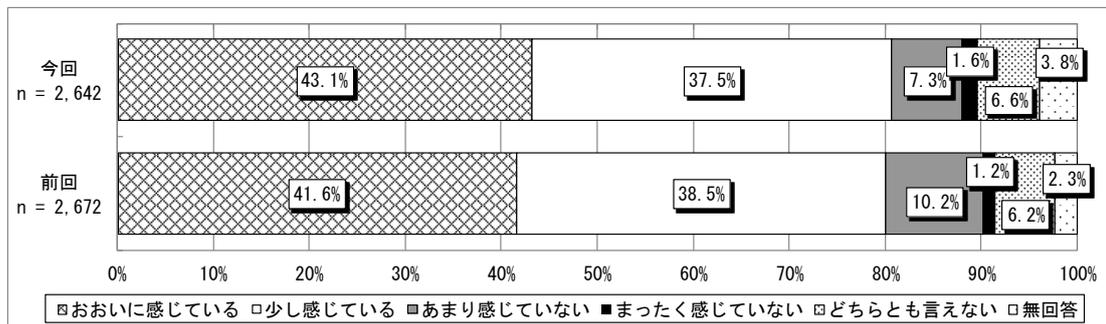
①全体集計



②年代別集計

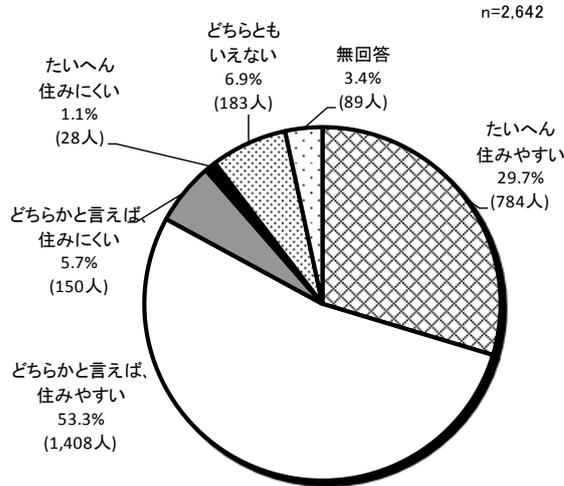


③前回比較集計

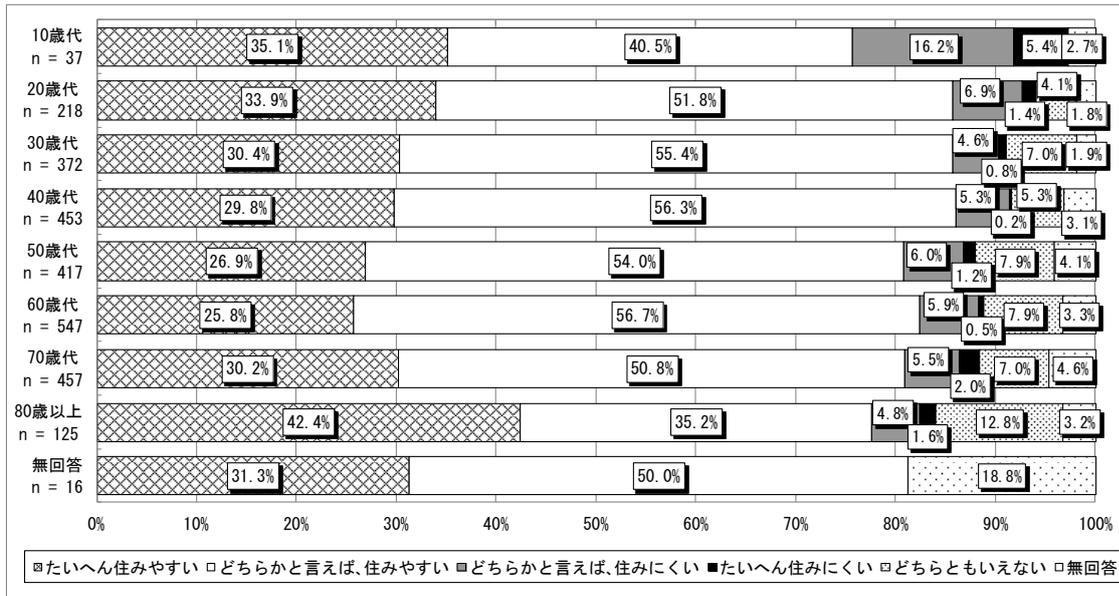


問2-2 お住まいの地域は、住みやすいですか？

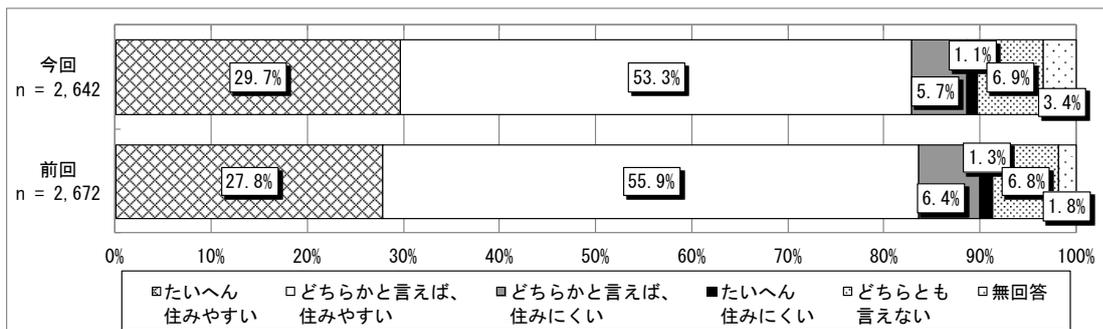
①全体集計



②年代別集計

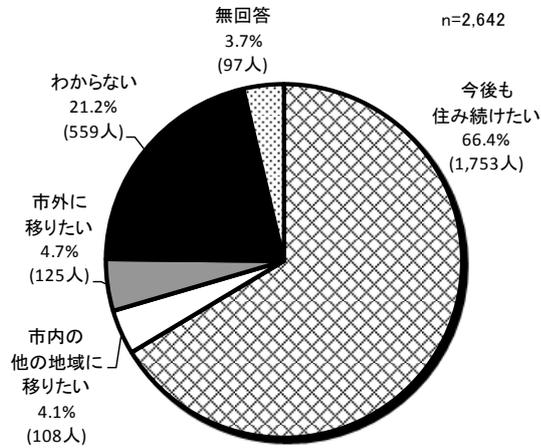


③前回比較集計

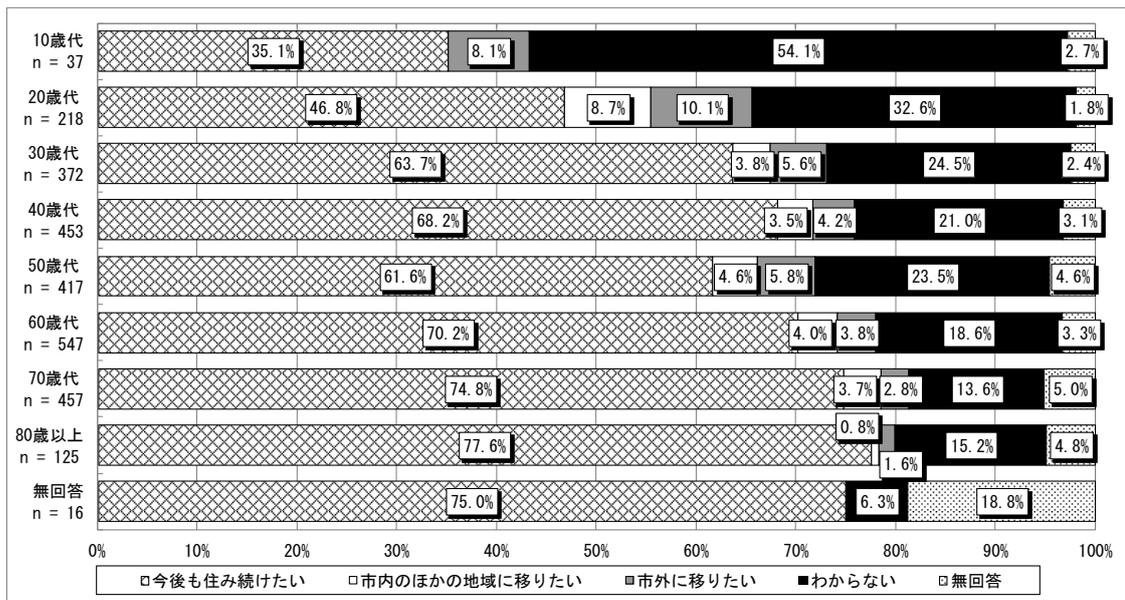


問2-3 お住まいの地域に、今後も住みたいと思いますか？

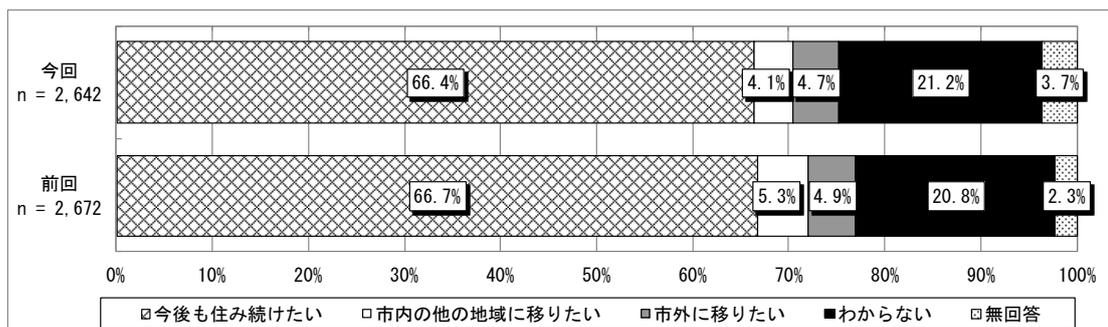
①全体集計



②年代別集計



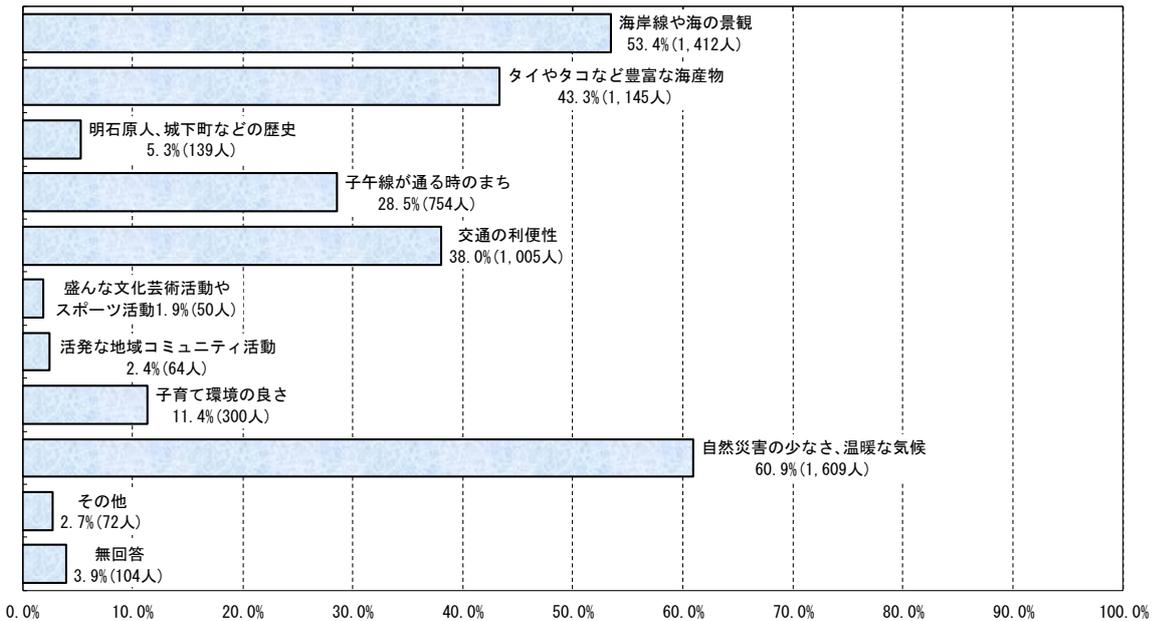
③前回比較集計



問2-4 明石のまちの誇れるところはどこにあると思いますか？(3つまで選択)

①全体集計

「自然災害の少なさ・温暖な気候」が最も多く60.9%、次いで「海岸線や海の景観」が53.4%、「タイやタコなど豊富な海産物」が43.3%、「交通の利便性」が38.0%であった。「その他」の回答内容では、明石公園、明石海峡大橋に関する記述が多かった。



※割合は、項目ごとの回答者数÷総回答者数 (n=2,642) で表しており、複数回答のため合計は100%にならない。

②年代別集計

年代別に見ると、30歳代以下ではすべての年代で「海岸線や海の景観」が最も多く、次いで「タイやタコなど豊富な海産物」が多かった。40歳代以上ではすべての年代で「自然災害の少なさ・温暖な気候」が最も多く、次いで「海岸線や海の景観」が多かった。

	1位	2位	3位	4位	5位
10歳代 (n=37)	海岸線や海の景観 (67.5%)	タイやタコなど豊富な海産物 (51.4%)	自然災害の少なさ・温暖な気候 (43.2%)	子午線が通る時のまち (37.8%)	交通の利便性 (32.4%)
20歳代 (n=218)	海岸線や海の景観 (56.8%)	タイやタコなど豊富な海産物 (50.9%)	自然災害の少なさ・温暖な気候 (49.5%)	交通の利便性 (35.8%)	子午線が通る時のまち (32.6%)
30歳代 (n=372)	海岸線や海の景観 (55.5%)	タイやタコなど豊富な海産物 (54.3%)	自然災害の少なさ・温暖な気候 (43.3%)	交通の利便性 (34.4%)	子午線が通る時のまち (30.6%)
40歳代 (n=453)	自然災害の少なさ・温暖な気候 (55.2%)	海岸線や海の景観 (51.8%)	タイやタコなど豊富な海産物 (47.2%)	交通の利便性 (34.7%)	子午線が通る時のまち (30.7%)
50歳代 (n=417)	自然災害の少なさ・温暖な気候 (63.3%)	海岸線や海の景観 (58.0%)	タイやタコなど豊富な海産物 (45.1%)	交通の利便性 (31.2%)	子午線が通る時のまち (29.3%)
60歳代 (n=547)	自然災害の少なさ・温暖な気候 (71.1%)	海岸線や海の景観 (52.6%)	交通の利便性 (45.2%)	タイやタコなど豊富な海産物 (35.6%)	子午線が通る時のまち (25.6%)
70歳代 (n=457)	自然災害の少なさ・温暖な気候 (73.1%)	海岸線や海の景観 (49.4%)	交通の利便性 (42.7%)	タイやタコなど豊富な海産物 (36.1%)	子午線が通る時のまち (26.7%)
80歳代以上 (n=125)	自然災害の少なさ・温暖な気候 (60.0%)	海岸線や海の景観 (42.3%)	交通の利便性 (40.0%)	タイやタコなど豊富な海産物 (36.8%)	子午線が通る時のまち (21.6%)

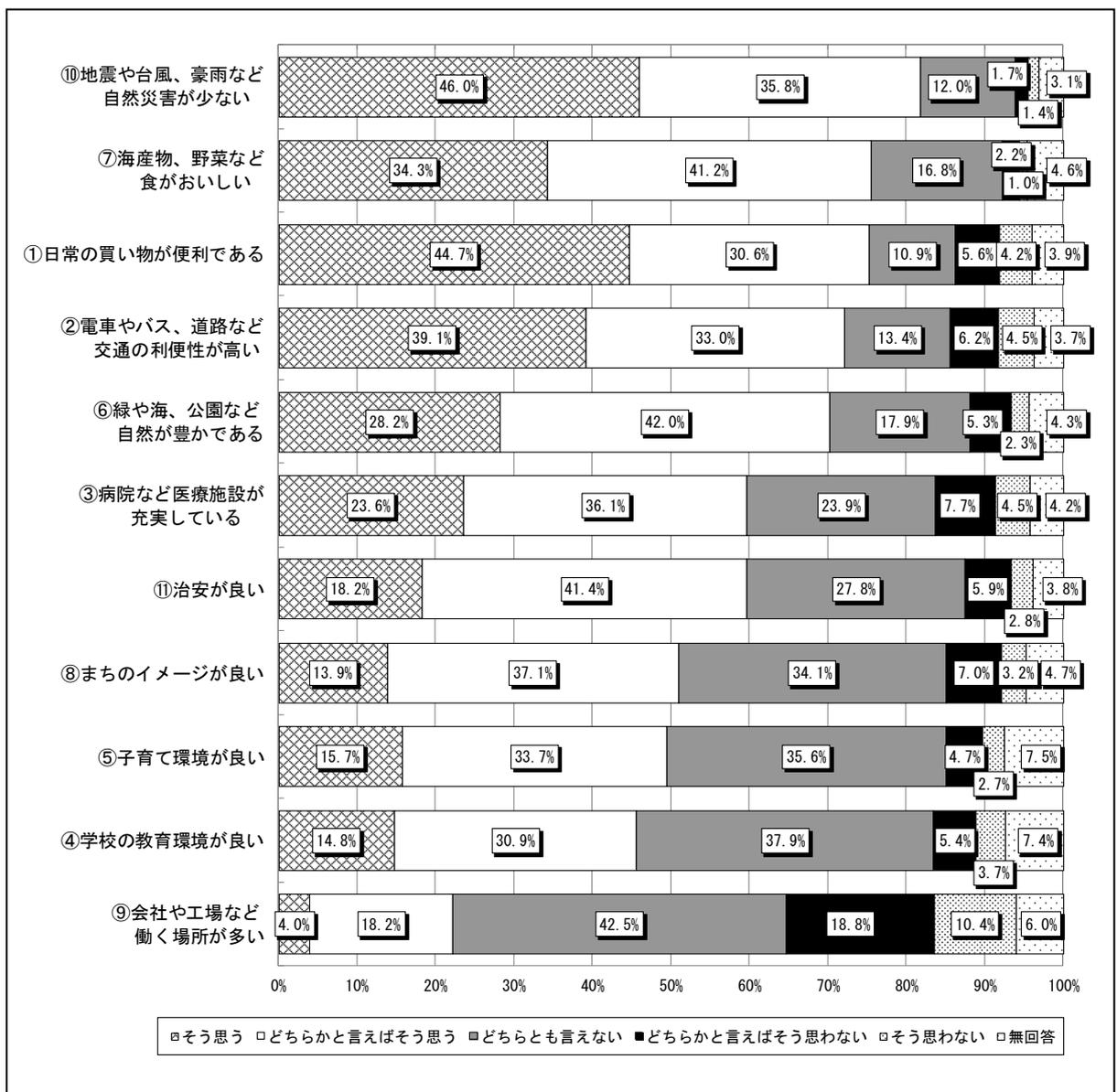
問2-5 お住まいの地域の生活環境について、どう感じていますか？

(1)結果概要

生活環境に関する11の項目について、それぞれ「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」、「どちらとも言えない」、「どちらかと言えばそう思わない」、「そう思わない」のいずれにあてはまるか、市民意識を聞いた。

その結果、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計割合が最も高かったのは「地震や台風、豪雨など自然災害が少ない」であり、次いで「海産物、野菜など食がおいしい」、「日常の買い物が便利である」、「電車やバス、道路など交通の利便性が高い」の順であった。

一方、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計割合が最も高かったのは「会社や工場など働く場所が多い」であり、次いで「病院など医療施設が充実している」、「電車やバス、道路など交通の利便性が高い」、「まちのイメージが良い」の順であった。



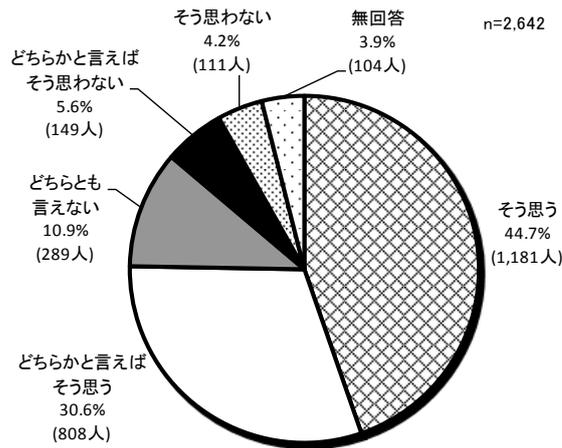
※「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計割合が高い順に並べ替え。

(2)各項目の集計結果

① 日常の買い物が便利である

①全体集計

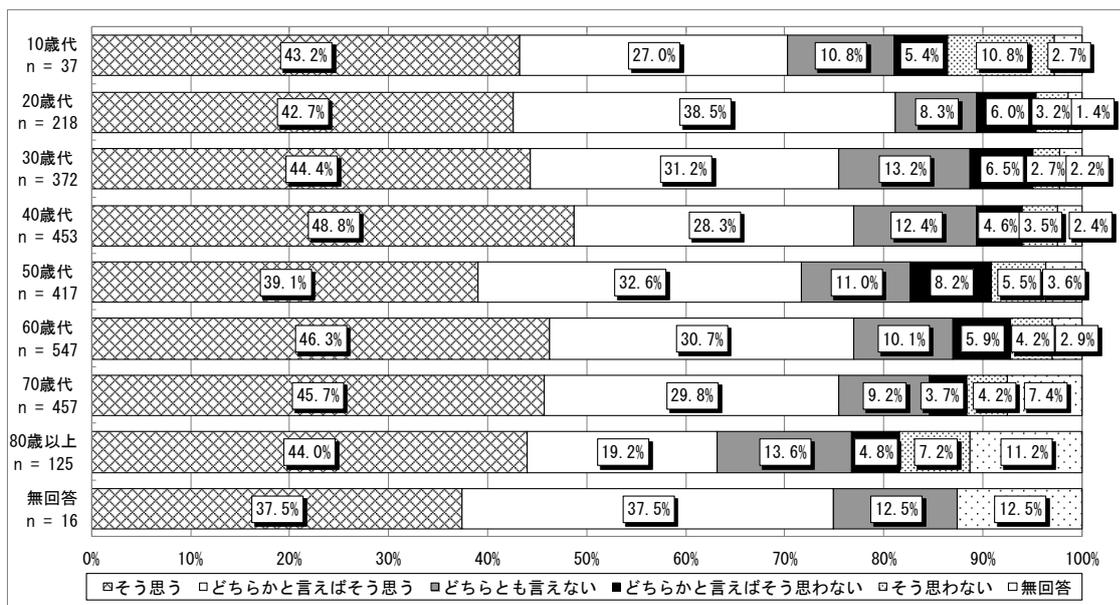
「そう思う」が最も多く44.7%であり、次いで「どちらかと言えばそう思う」で30.6%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせると約7.5割を占めた。



②年代別集計

10歳代から70歳代までの年代で「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が7割を超えたが、80歳以上では、63.2%であった。

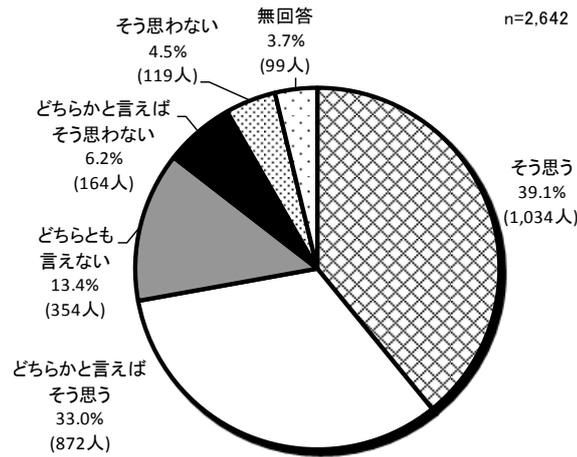
また、「そう思わない」については、10歳代が10.8%、80歳以上が7.2%で、他の年代と比べて少し高かった。



② 電車やバス、道路など交通の利便性が高い

①全体集計

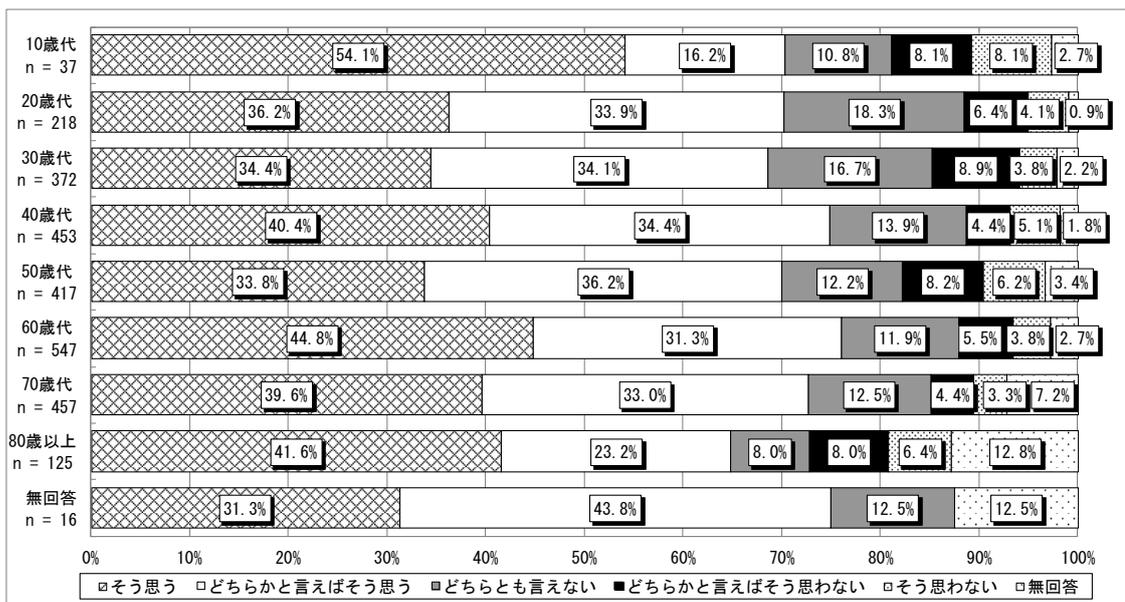
「そう思う」が最も多く39.1%であり、次いで「どちらかと言えばそう思う」が33.0%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせると約7割であった。



②年代別集計

30歳代と80歳代を除くすべての年代で「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が7割を超えた。

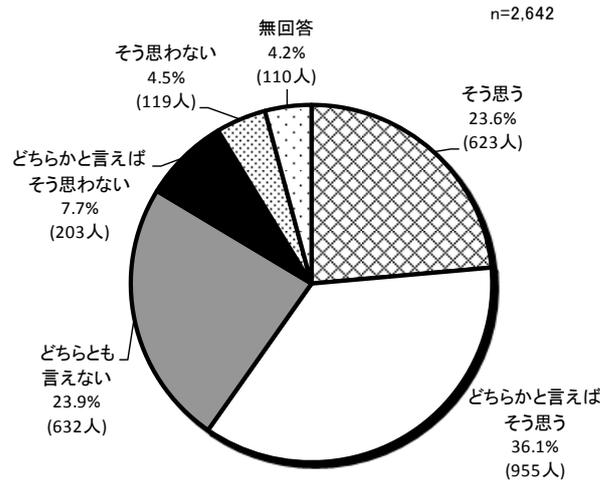
また、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計については、10歳代、50歳代、80歳以上が約1.5割で、他の年代と比べて少し高かった。



③ 病院など医療施設が充実している

①全体集計

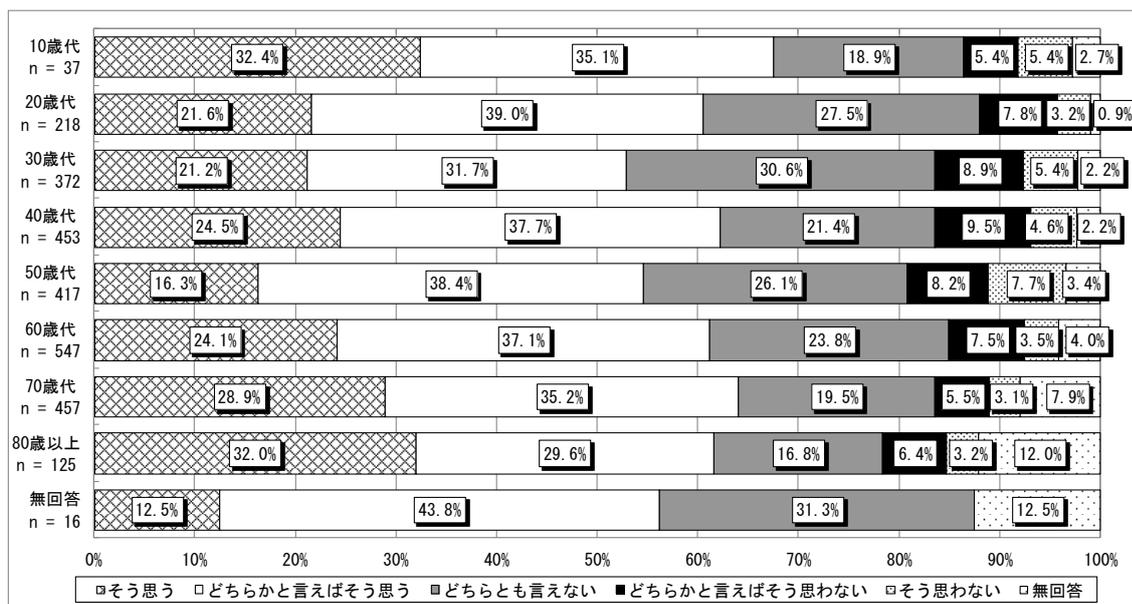
「どちらかと言えばそう思う」が最も多く36.1%であり、次いで「どちらとも言えない」が23.9%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせると約6割であった。



②年代別集計

30歳代と50歳代を除くすべての年代で「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が6割を超えた。

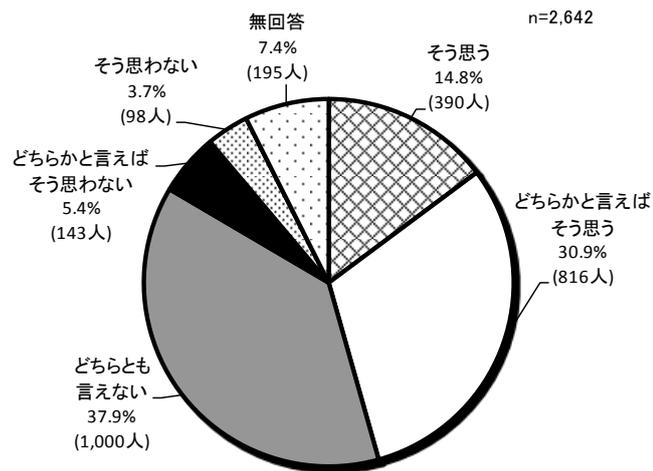
また、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計については、30歳代から50歳代が約1.5割で、他の年代と比べて少し高かった。



④ 学校の教育環境が良い

①全体集計

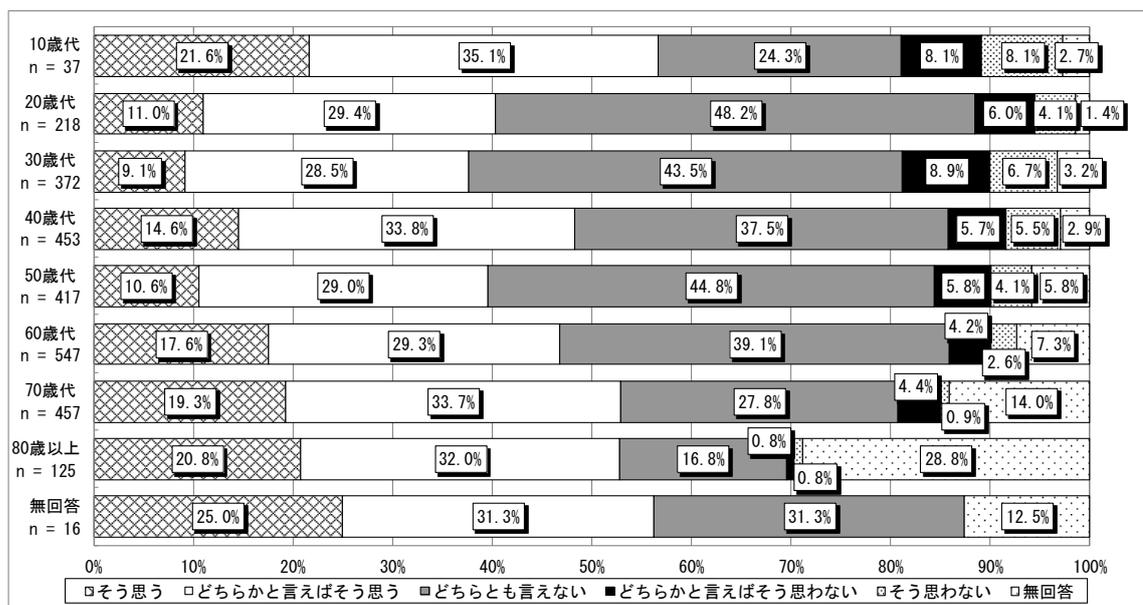
「どちらとも言えない」が最も多く37.9%であり、次いで「どちらかと言えばそう思う」が30.9%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」合わせると約4.5割であった。



②年代別集計

10歳代と70歳代以上の年代では「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が5割を超えた。

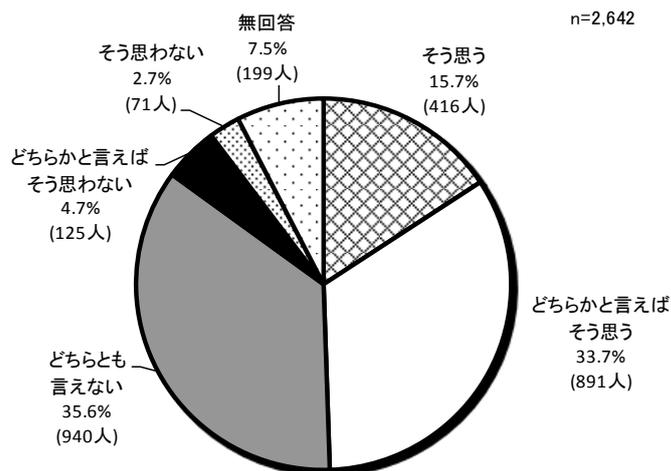
また、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計については、10歳代と30歳代が約1.5割で、他の年代と比べて少し高かった。



⑤ 子育て環境が良い

①全体集計

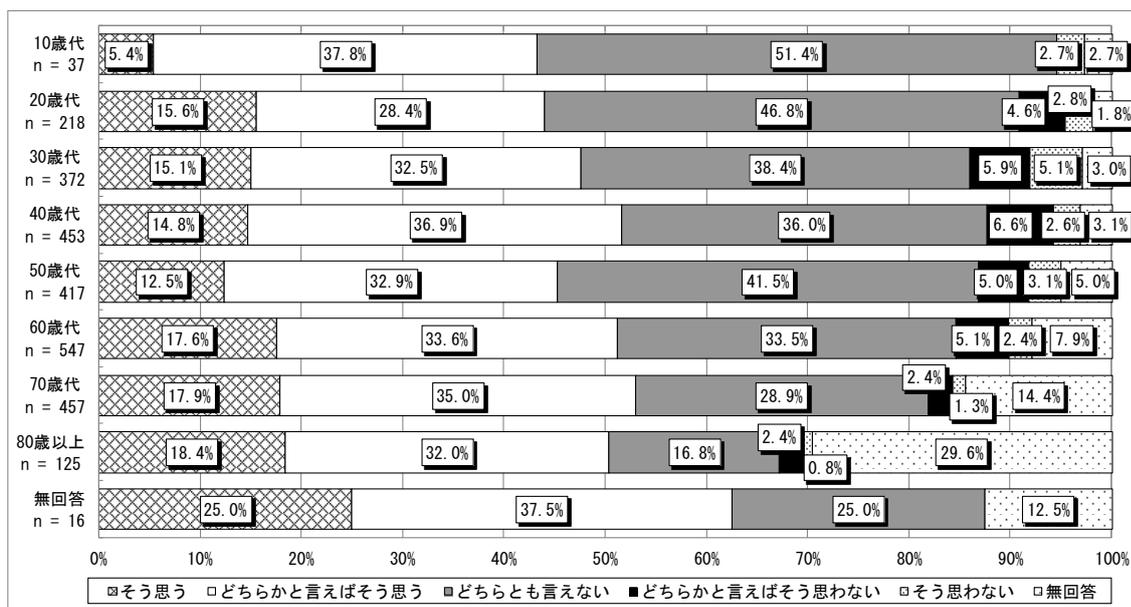
「どちらとも言えない」が最も多く35.6%であり、次いで「どちらかと言えばそう思う」が33.7%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」合わせると約5割であった。



②年代別集計

40歳代と60歳代以上の年代では「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が5割を超えた。

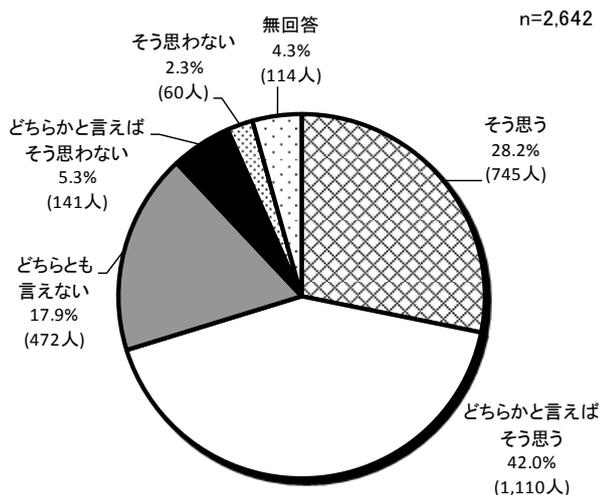
また、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計については、30歳代と40歳代が約1割で、他の年代と比べて少し高かった。



⑥ 緑や海、公園など自然が豊かである

①全体集計

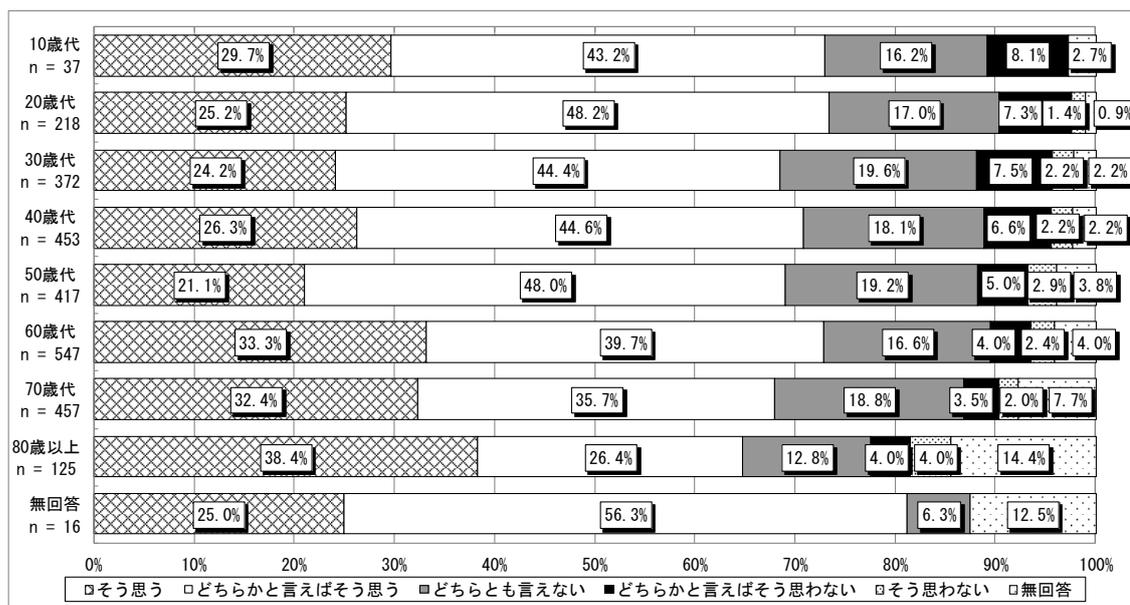
「どちらかと言えばそう思う」が最も多く42.0%であり、次いで「そう思う」が28.2%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせると約7割であった。



②年代別集計

80歳以上を除くすべての年代で「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が6.5割を超えた。

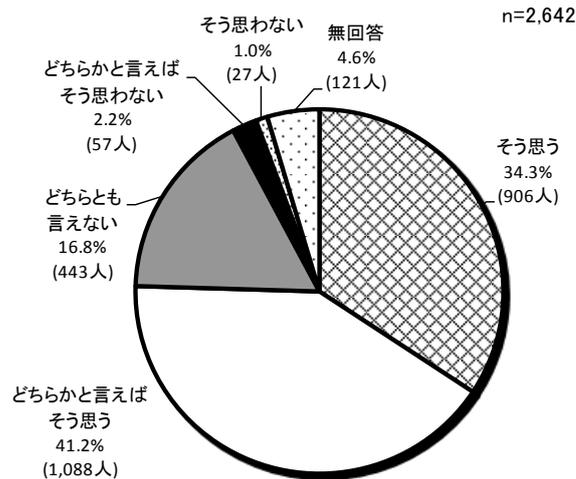
また、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計については、年代が上がるにつれて低くなる傾向にあった。



⑦ 海産物、野菜など食がおいしい

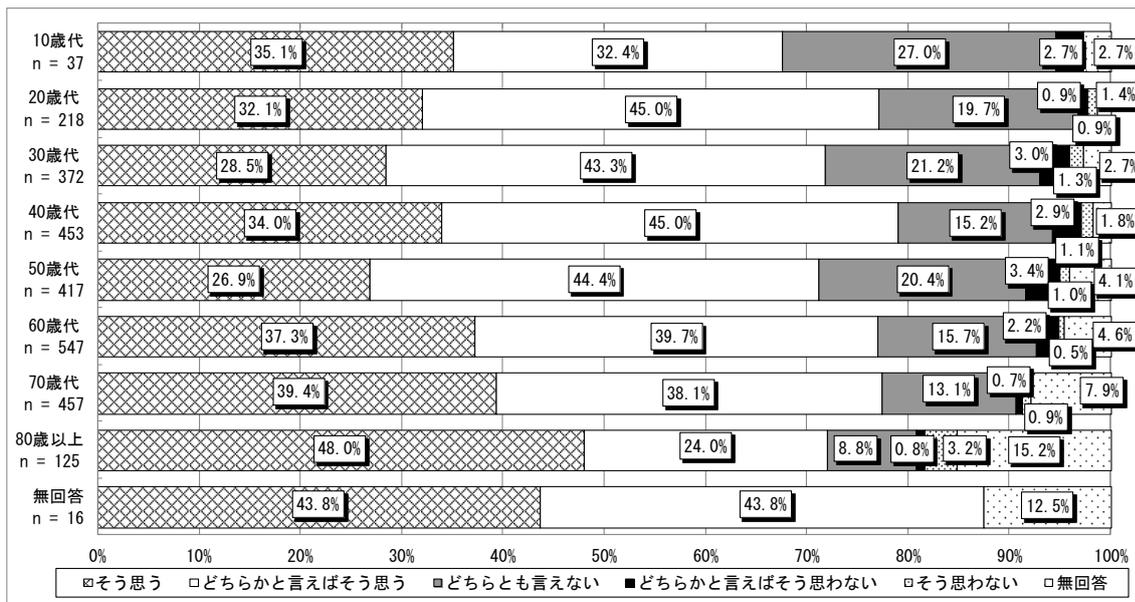
①全体集計

「どちらかと言えばそう思う」が最も多く41.2%であり、次いで「そう思う」が34.3%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせると約7.5割であった。



②年代別集計

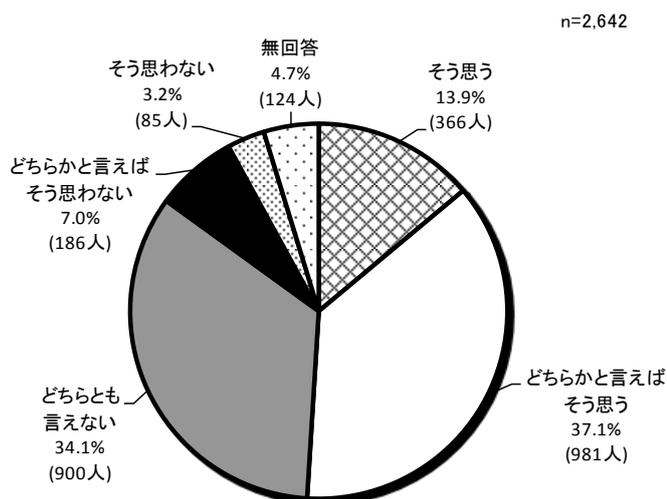
10歳代を除くすべての年代で「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が7割を超えた。また、80歳以上では「そう思う」が48.0%で、他の年代に比べて高かった。



⑧ まちのイメージが良い

①全体集計

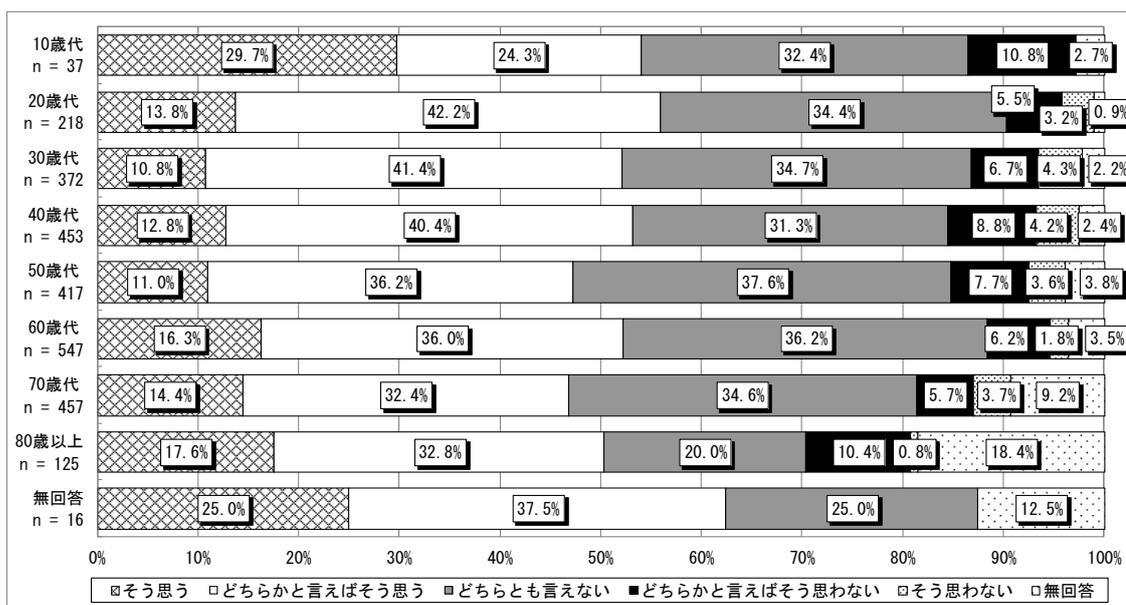
「どちらかと言えばそう思う」が最も多く37.1%であり、次いで「どちらとも言えない」が34.1%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」合わせると約5割であった。



②年代別集計

50歳代と70歳代を除くすべての年代で「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が5割を超えた。

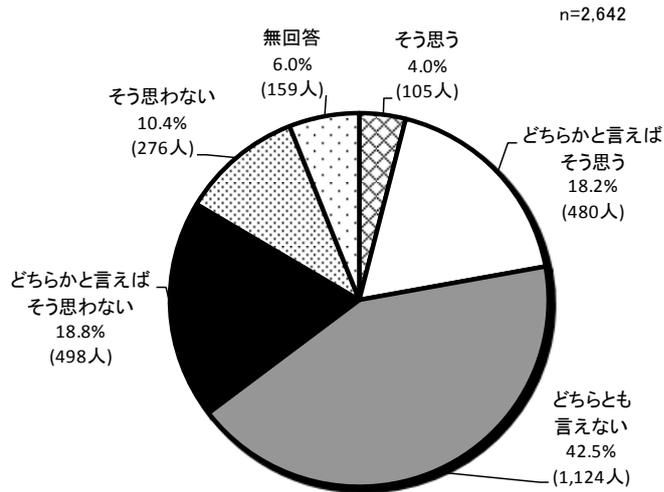
また、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計については、すべての年代で1割前後であった。



⑨ 会社や工場など働く場所が多い

①全体集計

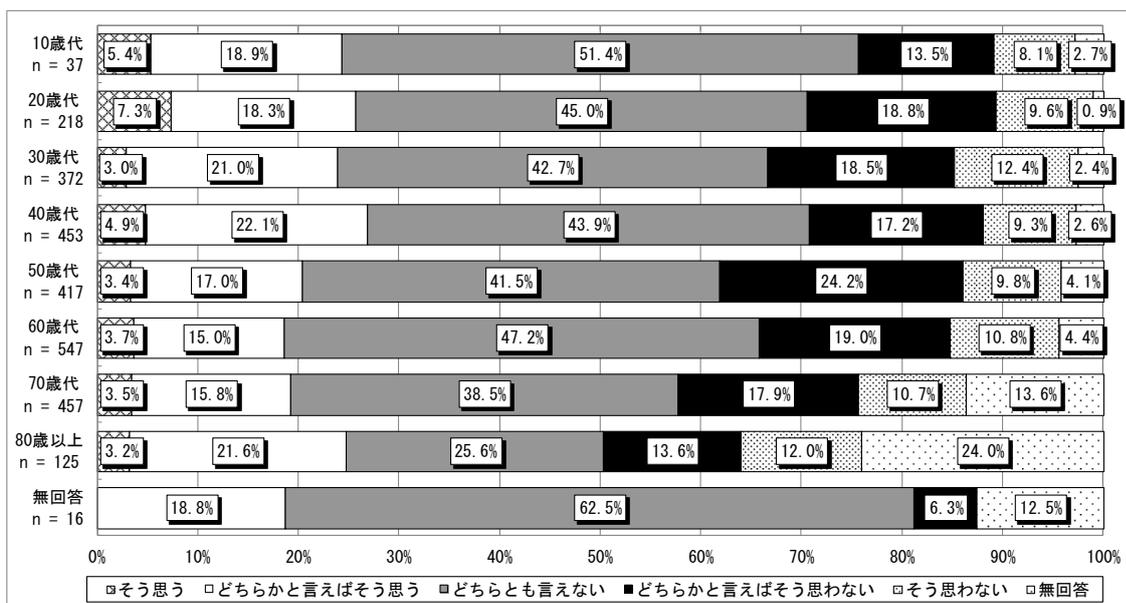
「どちらとも言えない」が最も多く42.5%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせると約2割であり、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計を下回った。



②年代別集計

20歳代と40歳代を除くすべての年代で「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が2.5割を下回った。

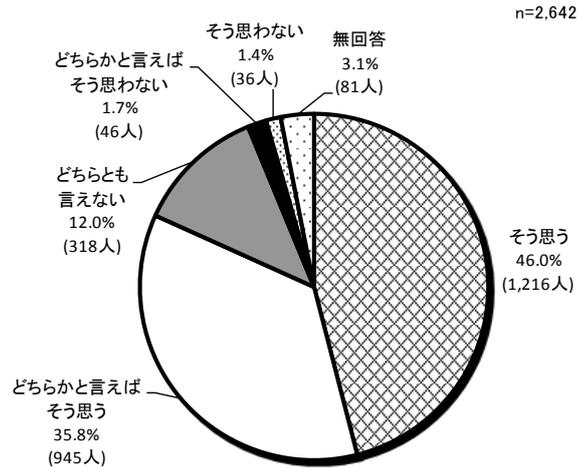
また、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計については、30歳代と50歳代で3割を上回り、50歳代が34.0%で最も高かった。



⑩ 地震や台風、豪雨など自然災害が少ない

①全体集計

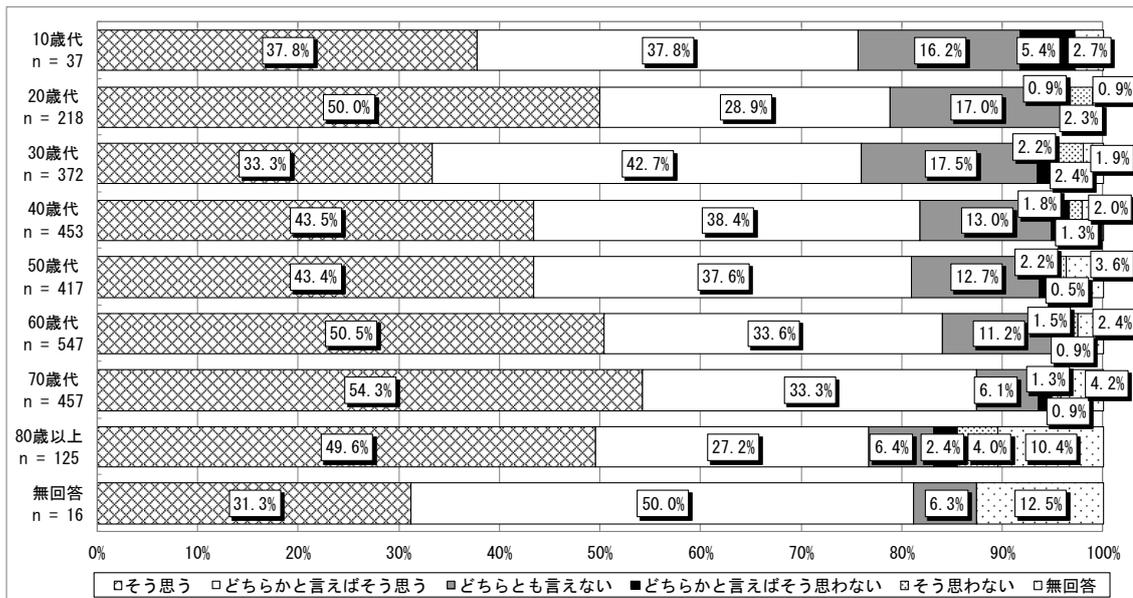
「そう思う」が最も多く46.0%であり、次いで「どちらかと言えばそう思う」が35.8%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせると8割を超えた。



②年代別集計

すべての年代で「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計が7.5割を超えており、特に、70歳代は8.5割を超えた。

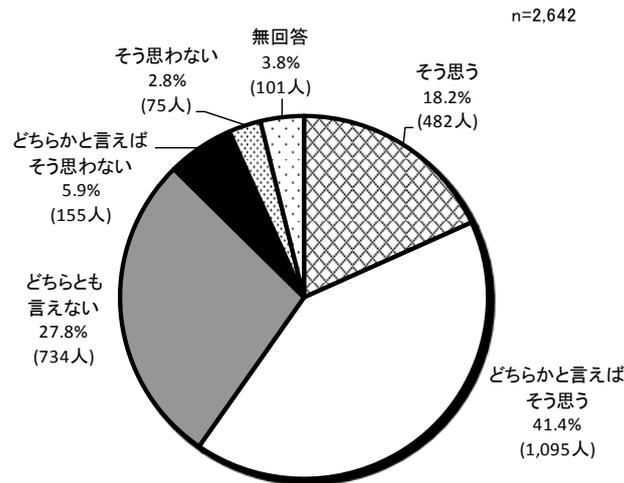
また、20歳代、60歳代、70歳代では「そう思う」が5割以上だった。



⑪ 治安が良い

①全体集計

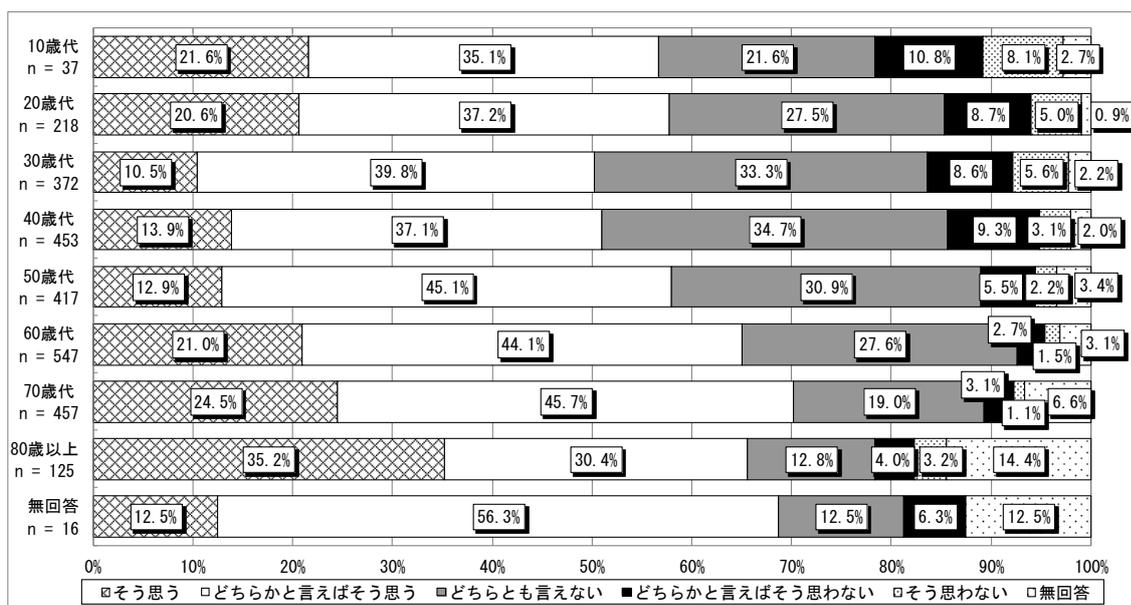
「どちらかと言えばそう思う」が最も多く41.4%であり、次いで「どちらとも言えない」が27.8%であった。「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせると約6割であった。



②年代別集計

「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計について、60歳以上の年代では6.5割を超えたが、30歳代、40歳代では約5割であった。

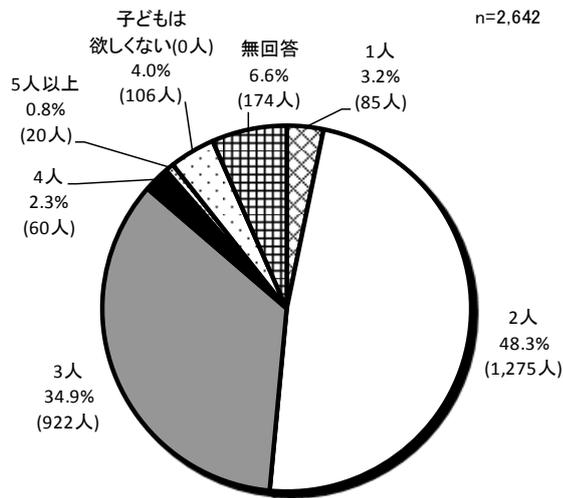
また、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計については、40歳代以下の年代で1割を超えた。



問 2-6 あなたの理想の子どもは何人ですか？

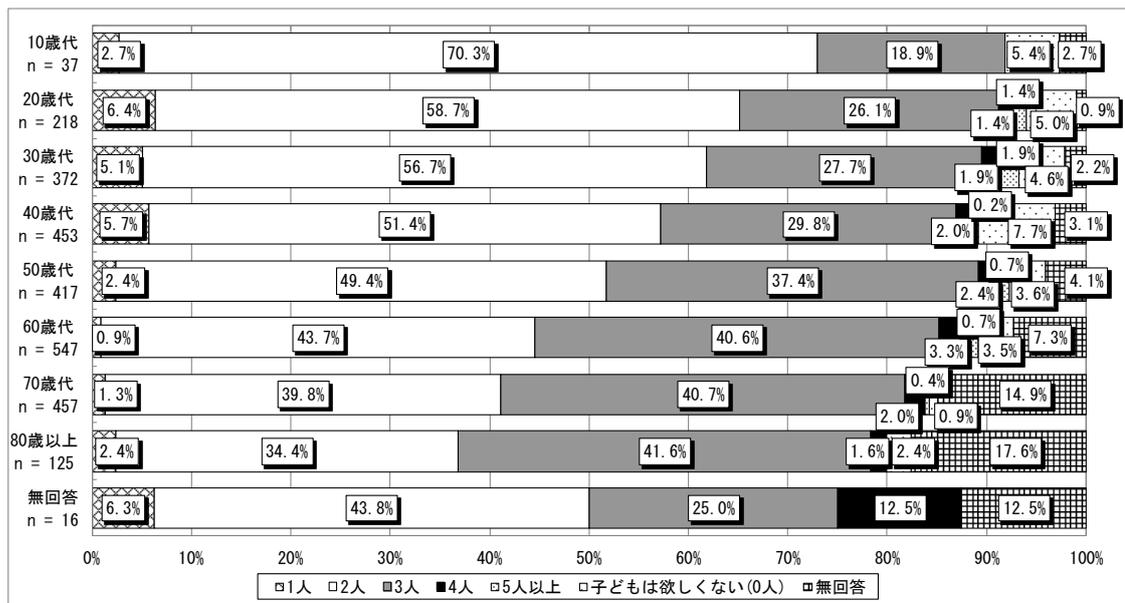
①全体集計

「2人」が最も多く 48.3%、次いで「3人」が 34.9%で、「2人」又は「3人」で約8割を占めた。また、「子どもは欲しくない(0人)」は 4.0%であった。



②年代別集計

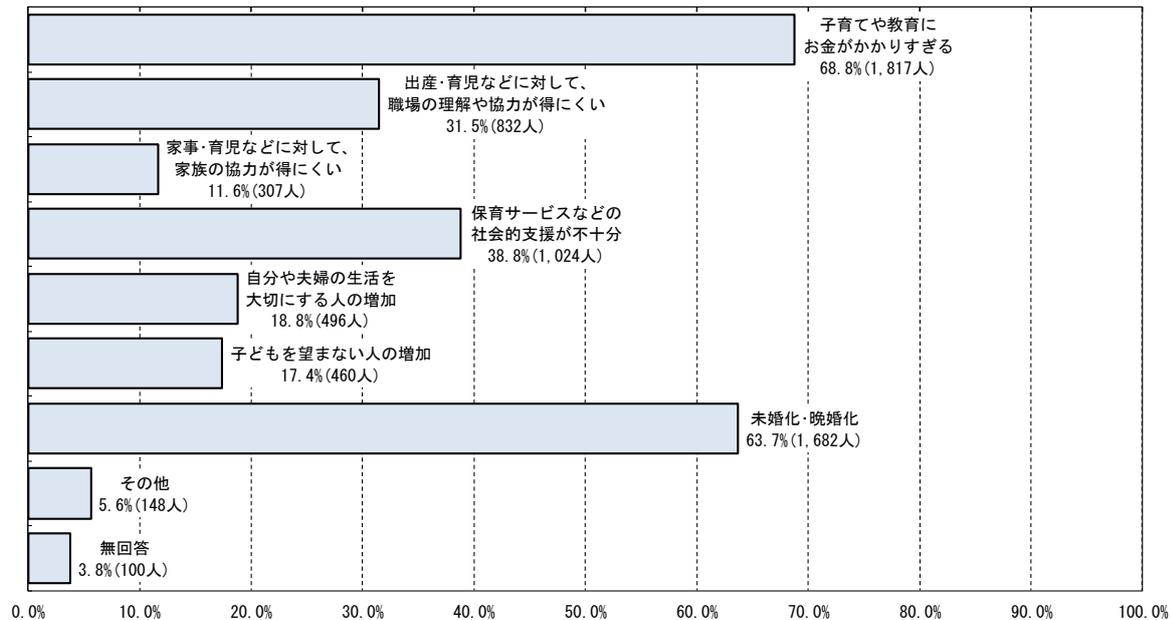
60歳代以下の年代では「2人」が最も多いが、年代が上がるほど「3人」の割合が増えていき、70歳代以上の年代では「3人」が最も多かった。



問2-7 少子化が進んでいる理由は何だと思いますか？（3つまで選択）

①全体集計

「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が最も多く 68.8%、次いで「未婚化・晩婚化」が 63.7%、「保育サービスなどの社会的支援が不十分」が 38.8%であった。「その他」の回答内容では、雇用や就職、収入など経済的不安に関する記述が多かった。



※割合は、項目ごとの回答者数÷総回答者数（n=2,642）で表しており、複数回答のため合計は100%にならない。

②年代別集計

年代別で大きな違いは見られなかったが、20歳代と30歳代では「保育サービスなどの社会的支援が不十分」が約5割あり、他の年代に比べて回答割合が高かった。

	1位	2位	3位	4位	5位
10歳代 (n=37)	未婚化・晩婚化 (70.3%)	お金がかかりすぎる (67.6%)	社会的支援が不十分 (43.2%)	職場の理解や協力が得にくい (21.6%)	子どもを望まない人の増加 (18.9%)
20歳代 (n=218)	お金がかかりすぎる (72.9%)	未婚化・晩婚化 (56.9%)	社会的支援が不十分 (48.6%)	職場の理解や協力が得にくい (35.3%)	子どもを望まない人の増加 (17.4%)
30歳代 (n=372)	お金がかかりすぎる (73.1%)	未婚化・晩婚化 (59.7%)	社会的支援が不十分 (50.8%)	職場の理解や協力が得にくい (27.4%)	自分や夫婦の生活を大切にしている人の増加 (17.5%)
40歳代 (n=453)	お金がかかりすぎる (69.8%)	未婚化・晩婚化 (64.7%)	社会的支援が不十分 (32.2%)	職場の理解や協力が得にくい (23.0%)	自分や夫婦の生活を大切にしている人の増加 (19.0%)
50歳代 (n=417)	お金がかかりすぎる (70.5%)	未婚化・晩婚化 (61.4%)	社会的支援が不十分 (42.0%)	職場の理解や協力が得にくい (28.1%)	自分や夫婦の生活を大切にしている人の増加 (20.4%)
60歳代 (n=547)	未婚化・晩婚化 (71.5%)	お金がかかりすぎる (67.5%)	社会的支援が不十分 (39.3%)	職場の理解や協力が得にくい (19.0%)	自分や夫婦の生活を大切にしている人の増加 (19.0%)
70歳代 (n=457)	お金がかかりすぎる (65.4%)	未婚化・晩婚化 (62.1%)	社会的支援が不十分 (31.1%)	子どもを望まない人の増加 (21.2%)	自分や夫婦の生活を大切にしている人の増加 (21.0%)
80歳代以上 (n=125)	未婚化・晩婚化 (60.0%)	お金がかかりすぎる (58.4%)	社会的支援が不十分 (24.8%)	子どもを望まない人の増加 (20.0%)	自分や夫婦の生活を大切にしている人の増加 (18.4%)

Ⅲ 調査の結果

2) 今後の明石のまちづくりについて (問3)

1. 調査目的

本市が進めてきたまちづくりの成果と課題について明らかにするとともに、今後の施策展開の参考にするため、「ここ数年、良くなった施策分野」、「今後、強く推進すべき施策分野」に関する調査を行った。

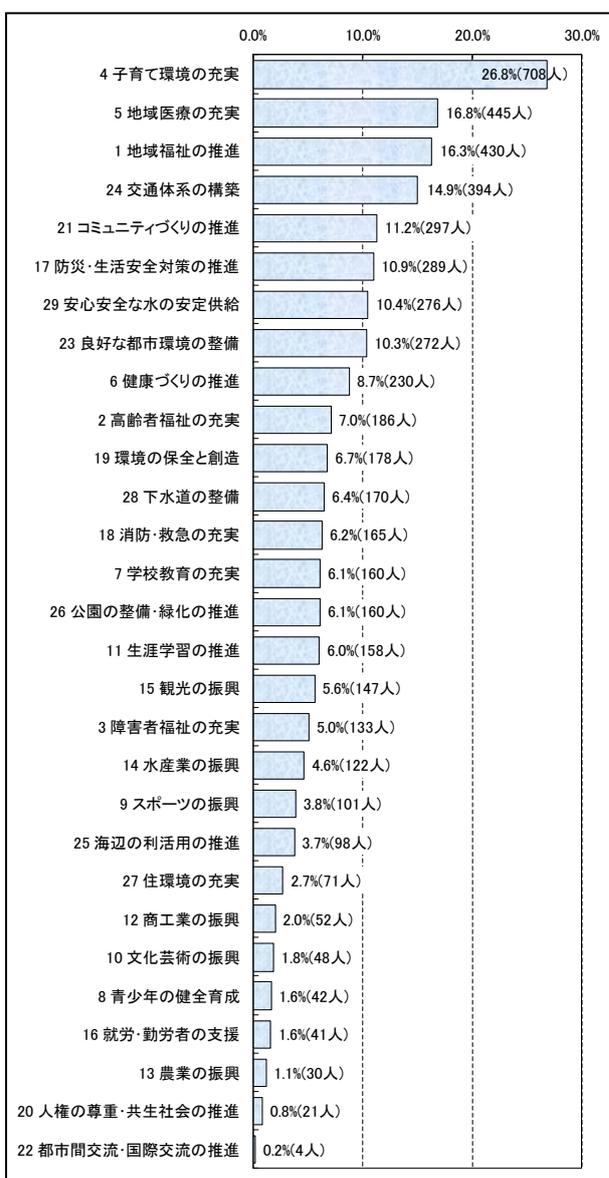
2. 集計結果

①全体集計

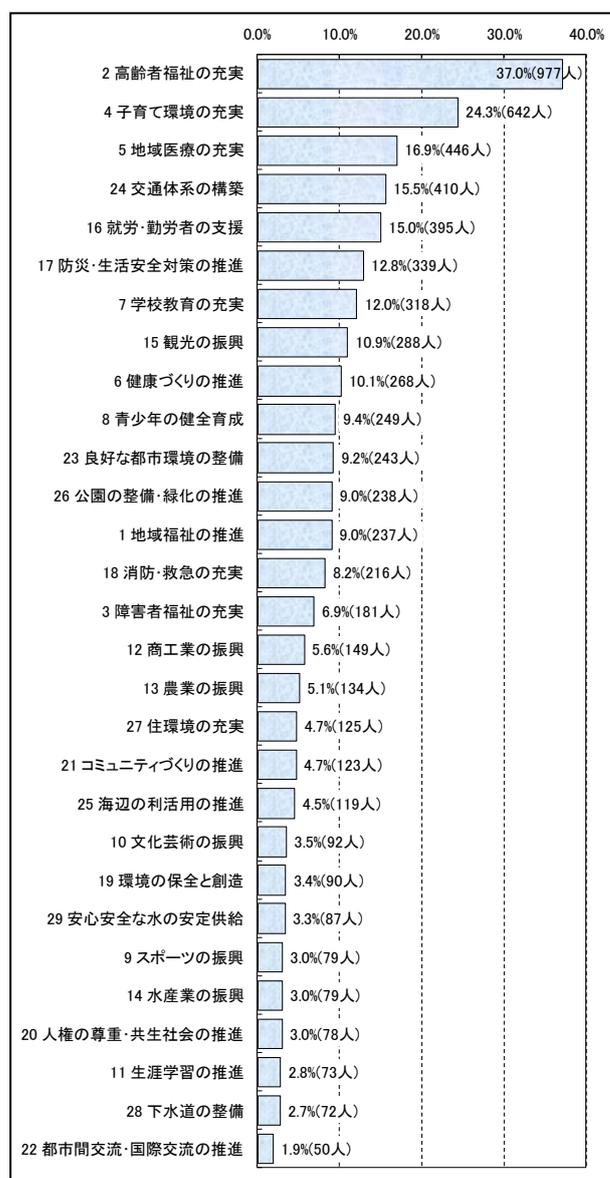
ここ数年、良くなった分野は「子育て環境の充実」が最も多く 26.8%、次いで「地域医療の充実」が 16.8%、「地域福祉の推進」が 16.3%であった。

また、今後、強く推進すべき分野は「高齢者福祉の充実」が最も多く 37.0%、次いで「子育て環境の充実」が 24.3%、「地域医療の充実」が 16.9%であった。

●ここ数年、良くなった分野



●今後、強く推進すべき分野



※複数回答(3つまで選択)可のため、回答者数の合計は、n=2,642にならず、回答割合の合計も100%にならない。

②年代別集計

●ここ数年、良くなった分野

50歳代以下のすべての年代では「子育て環境の充実」が最も多く、60歳代以上のすべての年代では「地域医療の充実」が最も多かった。また、「地域福祉の推進」がすべての年代で上位5位以内に入った。

	1位	2位	3位	4位	5位
10歳代 (n=37)	地域福祉の推進(21.6%) 子育て環境の充実(21.6%)		学校教育の充実 (16.2%)	高齢者福祉の充実、観光の振興、防災・生活 安全対策の推進、交通体系の構築(13.5%)	
20歳代 (n=218)	子育て環境の充実 (39.9%)	交通体系の構築 (18.8%)	地域福祉の推進 (18.3%)	地域医療の充実 (14.7%)	防災・生活安全対 策の推進(11.9%)
30歳代 (n=372)	子育て環境の充実 (46.0%)	良好な都市環境の 整備(15.3%)	地域医療の充実(13.2%) 交通体系の構築(13.2%)		地域福祉の推進 (12.6%)
40歳代 (n=453)	子育て環境の充実 (37.7%)	地域医療の充実 (17.2%)	交通体系の構築 (15.7%)	地域福祉の推進 (13.9%)	良好な都市環境の 整備(13.7%)
50歳代 (n=417)	子育て環境の充実 (27.8%)	交通体系の構築 (18.5%)	地域福祉の推進 (18.2%)	地域医療の充実 (13.7%)	防災・生活安全対 策の推進(12.2%)
60歳代 (n=547)	地域医療の充実 (19.2%)	子育て環境の充実 (17.4%)	地域福祉の推進 (17.2%)	交通体系の構築 (16.1%)	コミュニティづくりの 推進(13.7%)
70歳代 (n=457)	地域医療の充実 (21.0%)	安心安全な水の安 定供給(20.1%)	地域福祉の推進 (17.5%)	コミュニティづくりの 推進(13.6%)	生涯学習の推進、交 通体系の構築(13.4%)
80歳代以上 (n=125)	地域医療の充実 (19.2%)	地域福祉の推進 (16.0%)	安心安全な水の安 定供給(15.2%)	高齢者福祉の充実 (13.6%)	防災・生活安全対 策の推進(11.2%)

●今後、強く推進すべき分野

20歳代と30歳代では「子育て環境の充実」が最も多く、その他のすべての年代では「高齢者福祉の充実」が最も多かった。

それ以外の分野を年代別に見ると、10歳代では「防災・生活安全対策の推進」、20歳代では「就労・勤労者支援の充実」、30歳代では「学校教育の充実」の割合が高かった。また、40歳代から60歳代では「地域医療の充実」、70歳代と80歳代以上では「交通体系の構築」、「健康づくりの推進」の割合が高かった。

	1位	2位	3位	4位	5位
10歳代 (n=37)	高齢者福祉の充実 (35.1%)	防災・生活安全対 策の推進(24.3%)	子育て環境の充実 (18.9%)	地域医療の充実 (16.2%)	学校教育の充実 他3分野※(13.5%)
20歳代 (n=218)	子育て環境の充実 (39.4%)	高齢者福祉の充実 (24.8%)	就労・勤労者の支援 (22.5%)	交通体系の構築 (17.4%)	観光の振興(15.6%)
30歳代 (n=372)	子育て環境の充実 (46.5%)	学校教育の充実 (23.1%)	高齢者福祉の充実 (22.0%)	就労・勤労者の支援 (18.5%)	地域医療の充実 (17.7%)
40歳代 (n=453)	高齢者福祉の充実 (30.2%)	子育て環境の充実 (25.8%)	地域医療の充実 (20.5%)	学校教育の充実 (19.9%)	就労・勤労者の支援 (18.8%)
50歳代 (n=417)	高齢者福祉の充実 (36.9%)	地域医療の充実 (22.8%)	子育て環境の充実 (19.4%)	就労・勤労者の支援 (18.7%)	交通体系の構築 (18.2%)
60歳代 (n=547)	高齢者福祉の充実 (49.5%)	子育て環境の充実 (17.9%)	地域医療の充実 (16.8%)	交通体系の構築 (14.3%)	防災・生活安全対 策の推進(13.7%)
70歳代 (n=457)	高齢者福祉の充実 (46.6%)	交通体系の構築 (14.4%)	子育て環境の充実 (13.8%)	健康づくりの推進 (13.1%)	青少年の健全育成 (12.5%)
80歳代以上 (n=125)	高齢者福祉の充実 (38.4%)	健康づくりの推進(20.0%) 交通体系の構築(20.0%)		青少年の健全育成 (15.2%)	子育て環境の充実 (11.2%)

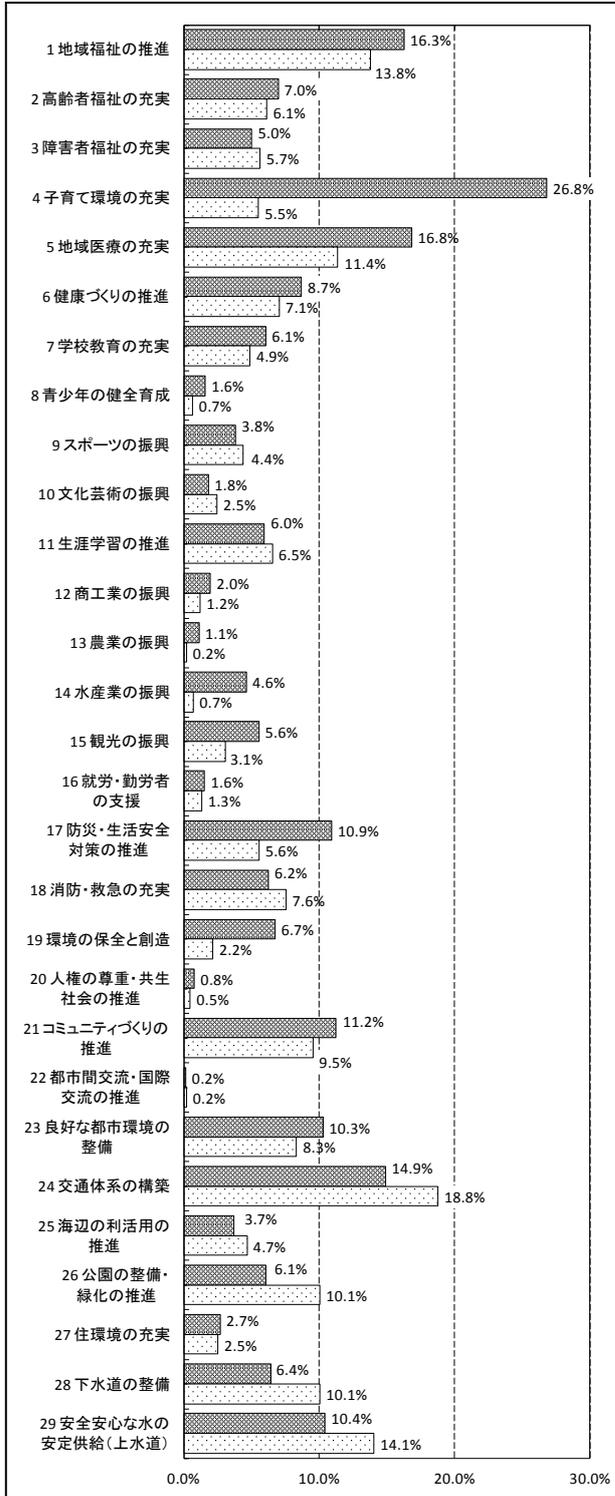
※10歳代5位：学校教育の充実、観光の振興、就労・勤労者の支援、環境の保全と創造

③前回比較集計

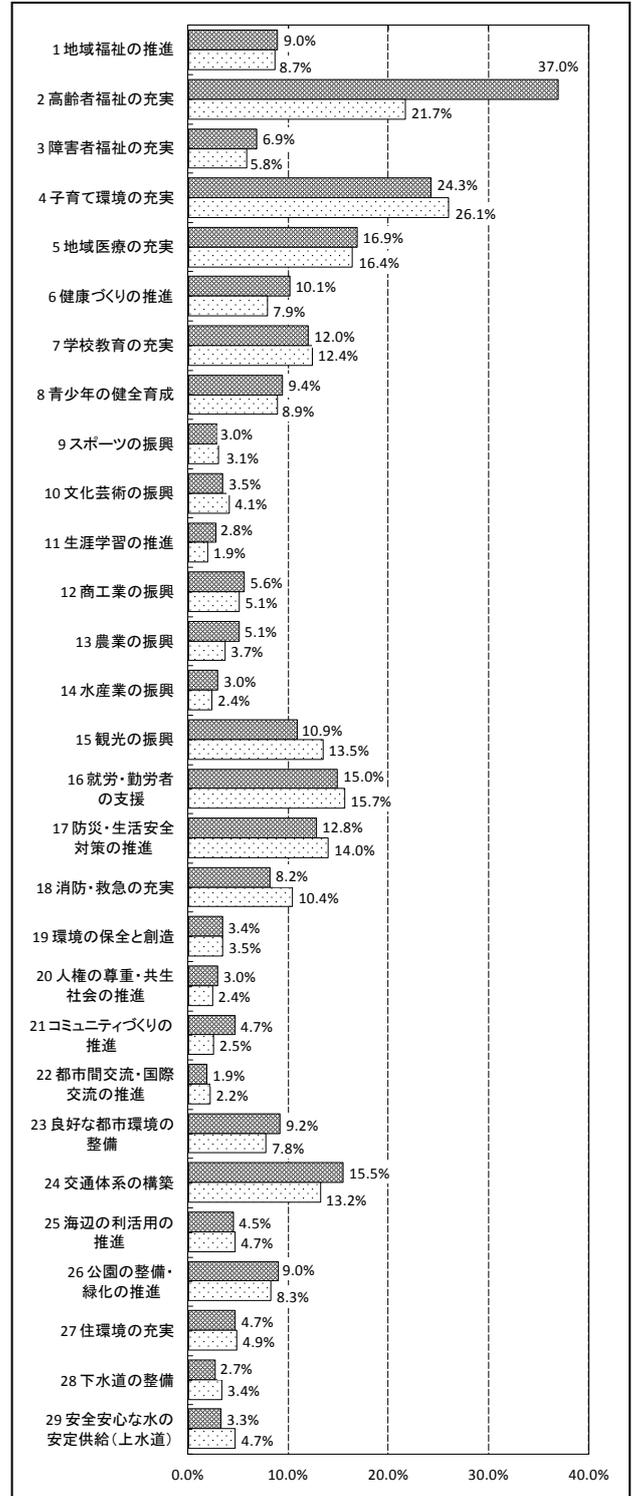
ここ数年、良くなった分野では「子育て環境の充実」の割合が大幅に高くなり、「地域医療の充実」、「防災・生活安全対策の推進」など18項目で前回よりも割合が高くなった。

また、今後、強く推進すべき分野では「高齢者福祉の充実」の割合が大幅に高くなり、「交通体系の構築」、「健康づくりの推進」など、15項目で前回よりも割合が高くなった。

●ここ数年、良くなった分野



●今後、強く推進すべき分野



※上段：今回調査結果、下段：前回調査結果

Ⅲ 調査の結果

3) 市民の皆さまの意識や行動について (問4)

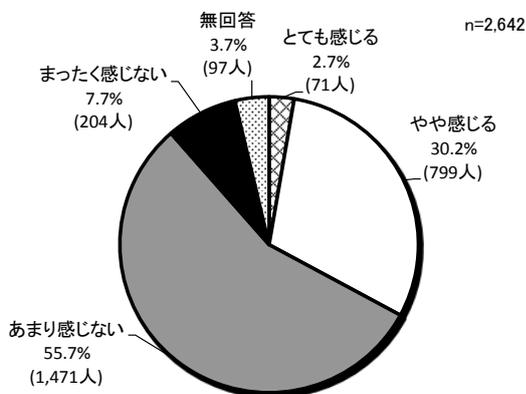
1. 調査目的

まちづくりの進捗状況の確認や今後の施策展開の参考とするため、市民の皆さまの意識や行動について調査を行った。

2. 各設問の集計結果

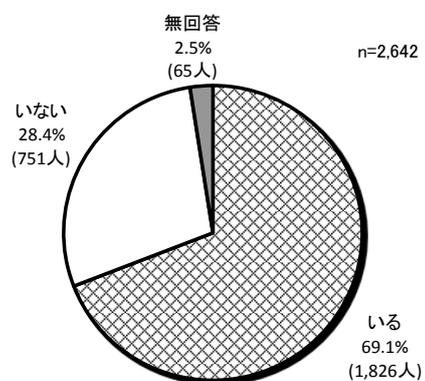
① 支援が必要な高齢者や障害者などを地域で支え合う地域福祉活動が推進されていると感じますか？

「あまり感じない」と答えた割合が約5.5割で半数以上を占め、「まったく感じない」とあわせて6.5割近い結果であった。年代による違いはあまり見られなかった。



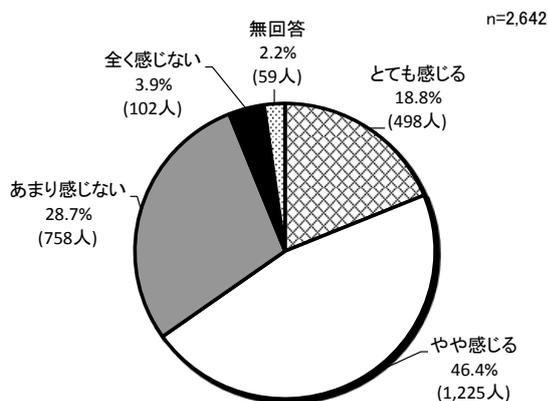
② 普段の生活で何か困ったことがあったとき、相談できる人が周りにいますか？

「いる」と答えた割合が約7割であった。年代別にみると、その割合は、10歳代、20歳代では8割を超えているが、年代が上がるにつれ割合が低くなり、50歳代以上では6.5割以下であった。



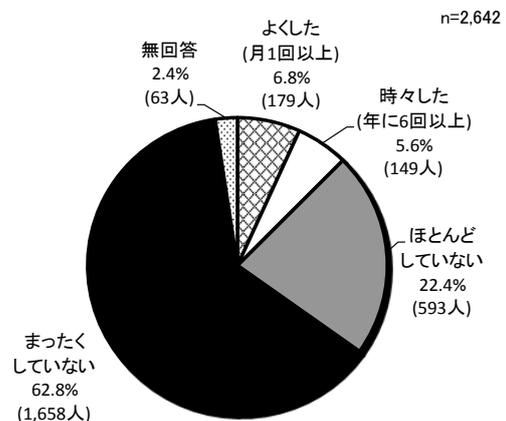
③ 日々の生活の中で、生きがいを持って暮らしていると感じますか？

「とても感じる」と「やや感じる」の合計が約6.5割であった。また、年代が上がるにつれて、「あまり感じない」の割合が高くなる傾向であった。



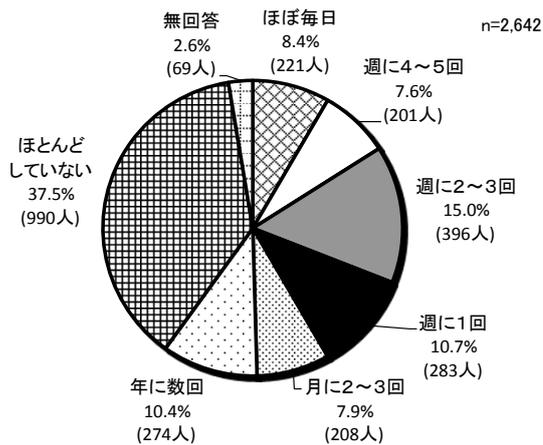
④ この1年程度の間、生涯学習活動をしましたか？

「ほとんどしていない」と「まったくしていない」の合計が約8.5割であった。年代別にその割合をみると、50歳代以下では9割程度であり、70歳代以上でも7割を超えた。



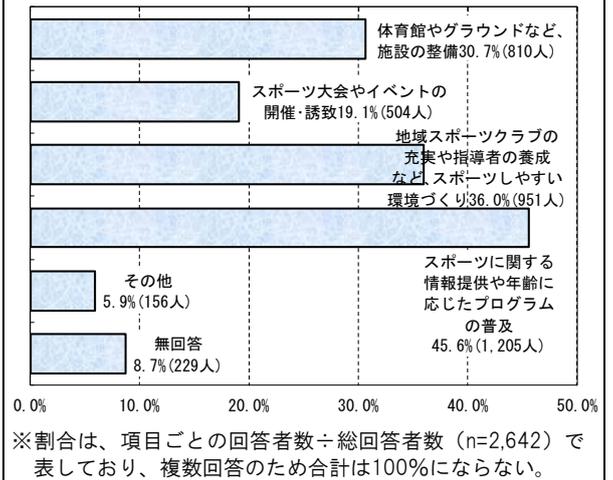
⑤この1年程度の間、スポーツや運動（1回あたり30分程度以上）をしましたか？

「ほとんどしていない」が最も多く37.5%で、「週に1回以上運動している」割合は約4割であった。年代別にみると、30歳代から70歳代にかけて、年代が上がるほどスポーツや運動をする割合が高くなる傾向にあった。



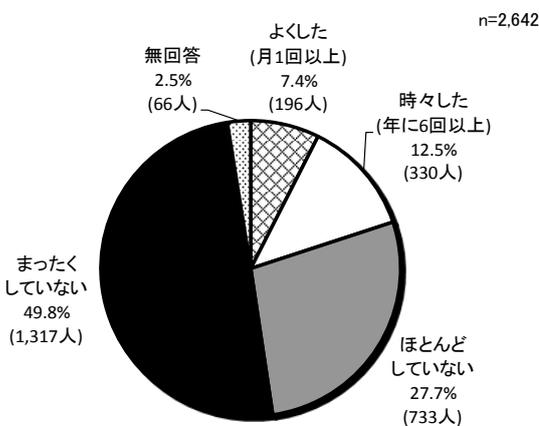
⑥スポーツがより盛んに行われるようになるために、特に力を入れる必要があると思うことは何ですか？（2つまで選択）

「スポーツに関する情報提供や年齢に応じたプログラムの普及」が最も多く45.6%、次いで「地域スポーツクラブの充実や指導者の養成など、スポーツしやすい環境づくり」が36.0%であった。



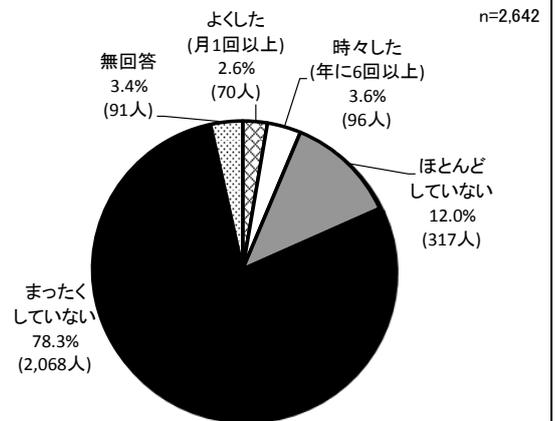
⑦この1年程度の間、自由時間の過ごし方として、文化芸術活動をしましたか？

「ほとんどしていない」と「まったくしていない」の合計が8割弱であった。年代による違いはあまり見られなかった。



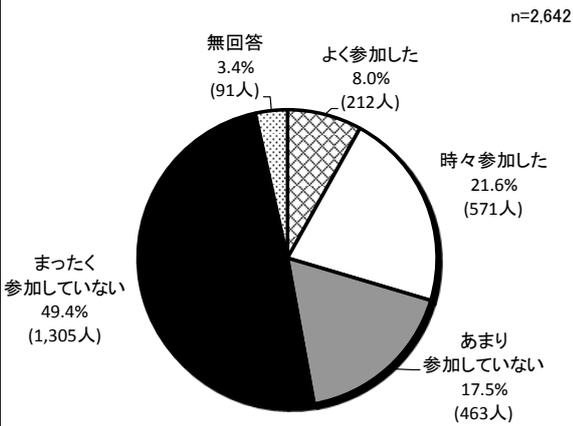
⑧この1年程度の間、国際交流活動（在住外国人との交流を含む）をしましたか？

「ほとんどしていない」と「まったくしていない」の合計が約9割だった。年代別にみると、10歳代だけが「よくした」、「時々した」の割合が少し高いものの、その他の年代では違いは見られなかった。



⑨この1年程度の間に、地域のまちづくり活動（自治会活動やボランティア活動）に参加しましたか？

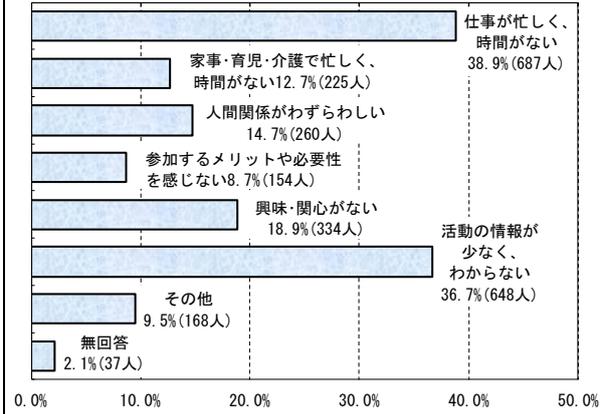
「あまり参加していない」と「まったく参加していない」の合計が約6.5割だった。年代別に見ると、10歳代と20歳代が特に「あまり参加していない」と「まったく参加していない」の割合が高く、8割を超えた。



⑩地域のまちづくりに参加していない要因は何ですか？（2つまで選択）

※⑨で「あまり参加していない」、「まったく参加していない」の場合のみ回答。

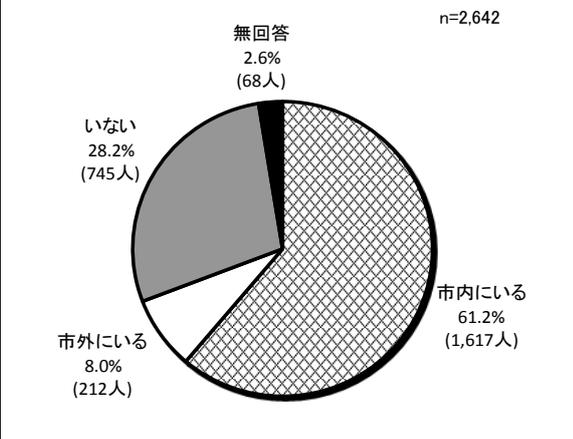
「仕事が忙しく、時間がない」が最も多く38.9%、次いで「活動の情報が少なく、わからない」が36.7%であった。「その他」の回答内容では、年齢や病気・体調に関する記述が多かった。



※割合は、項目ごとの回答者数÷総回答者数（n=1,768）で表しており、複数回答のため合計は100%にならない。

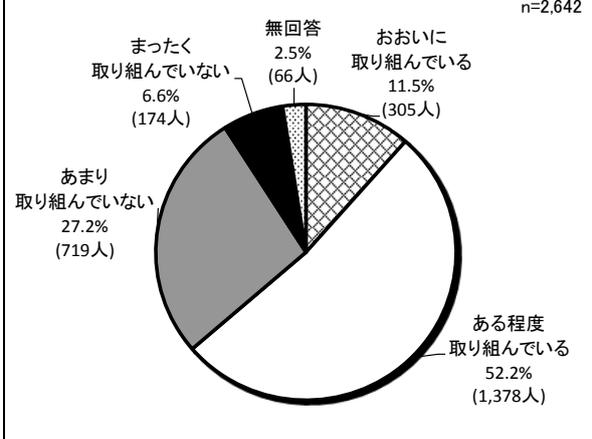
⑪体調が悪い時に診察してもらう「かかりつけ医」がいますか？

「市内にいる」の割合が約6割、「市外にいる」の割合が1割弱であった。年代別に見ると、20歳代から50歳代では、「いる」の割合が6割前後であったが、60歳代以上では7割を超え、特に80歳以上では約9割であった。



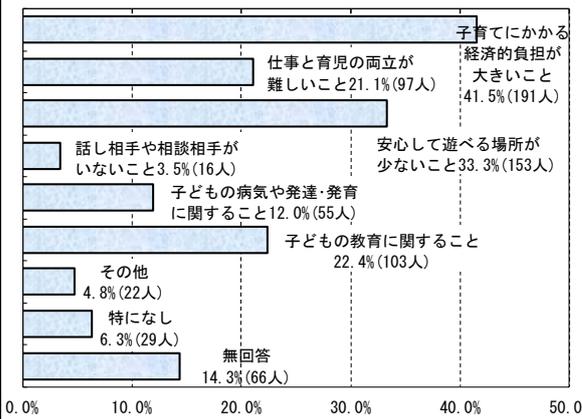
⑫日常生活の中で、健康のためによい生活習慣（食事や運動など）に取り組んでいますか？

「おおいに取り組んでいる」と「ある程度取り組んでいる」の合計は約6.5割であった。年代別に見ると、50歳代以下では5.5割前後であるが、60歳代、70歳代では7割を超えるなど、年齢が上がるほど高くなる傾向にあった。



⑬子育てに関して悩んでいること、気になることはありますか？（2つまで選択）
※小学生以下の子どもを持つ保護者のみ回答

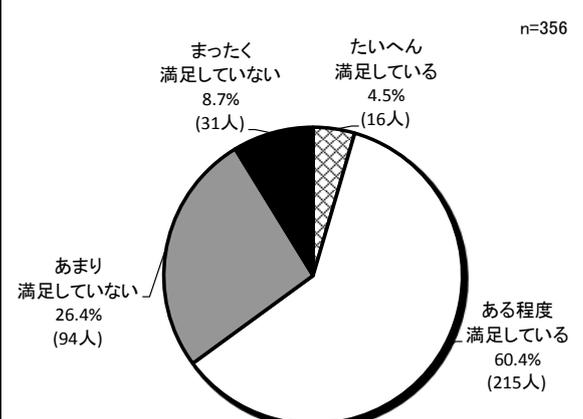
「子育てにかかる経済的負担が大きいこと」が最も多く41.5%、次いで「安心して遊べる場所が少ないこと」が33.3%であった。「その他」の回答内容では、夜間・休日の医療体制に関する記述などがあった。



※割合は、項目ごとの回答者数÷総回答者数（n=460）で表しており、複数回答のため合計は100%にならない。

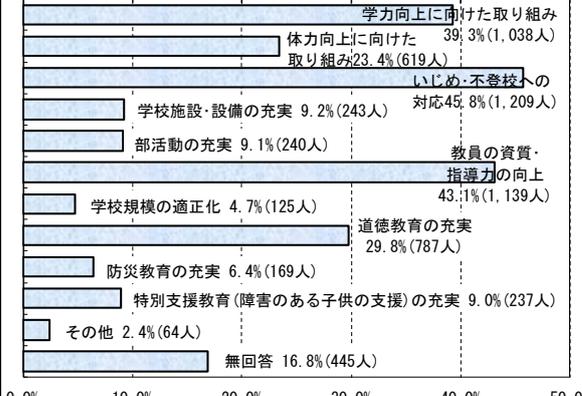
⑭市立学校における学習指導に対して満足していますか？
※市立小・中学校、明石商業高校に通学する児童、生徒がいる保護者のみ回答

「たいへん満足している」と「ある程度満足している」の合計が約6.5割だった。年代別にみると、30歳代で「たいへん満足している」の割合が若干高いものの、大きな違いは見られなかった。



⑮市立学校における学校教育の一層の充実に向けて、特に力を入れる必要があると思うことは何ですか？（3つまで選択）

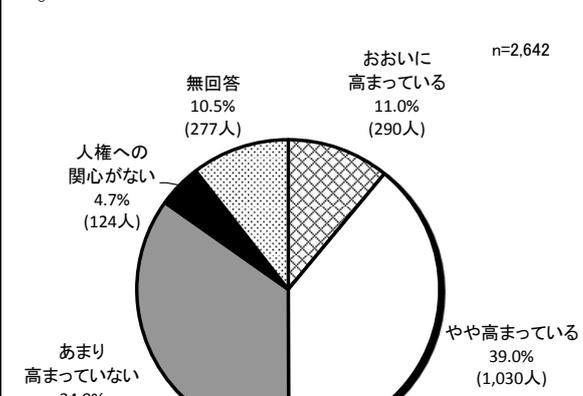
「いじめ・不登校への対応」が最も多く45.8%、次いで「教員の資質・指導力の向上」が43.1%、「学力向上に向けた取り組み」が39.3%であった。年代による違いはあまり見られなかった。



※割合は、項目ごとの回答者数÷総回答者数（n=2,642）で表しており、複数回答のため合計は100%にならない。

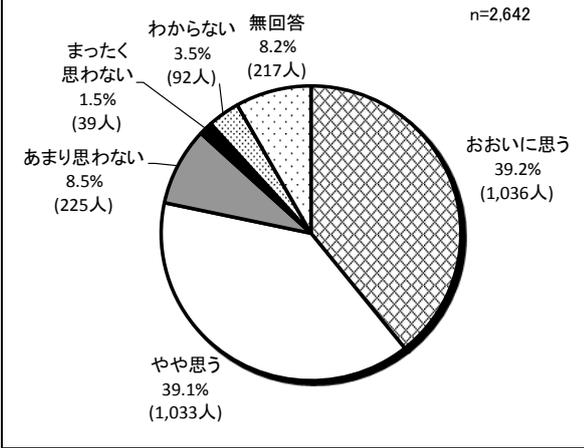
⑯あなたの人権への関心は、高まっていますか？

「おおいに高まっている」と「やや高まっている」の合計が5割、「あまり高まっていない」と「人権への関心がない」の合計が約4割であった。また、年代が上がるにつれて人権への関心が低くなる傾向であった。



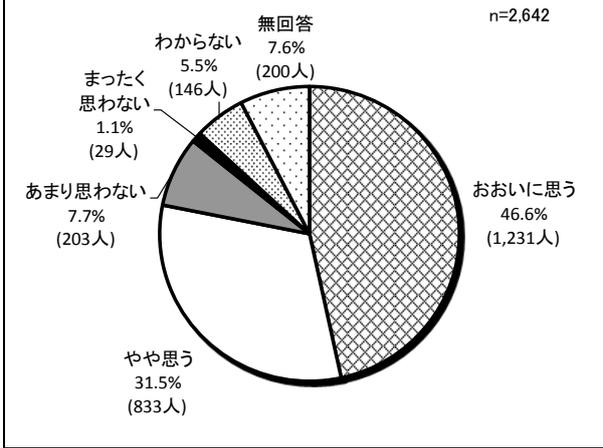
⑰家庭や職場など、あらゆる場において男女共同参画は大切なものだと思いますか？

「おおいに思う」と「やや思う」の合計が約8割であった。年代別にみると、年代が上がるにつれて「おおいに思う」と「やや思う」の合計割合が低くなる傾向にあった。



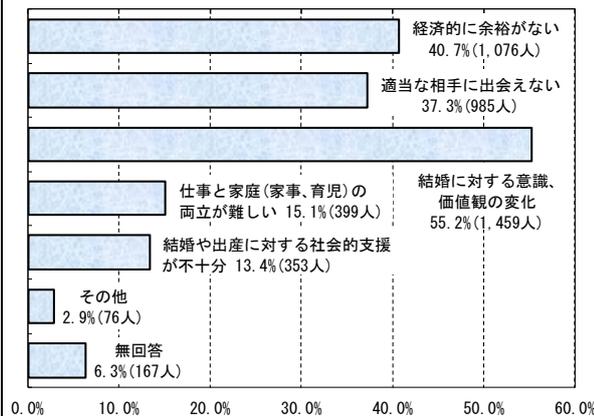
⑱結婚することは望ましいことだと思いますか？

「おおいに思う」と「やや思う」の合計が約8割であった。年代による違いはあまり見られなかった。



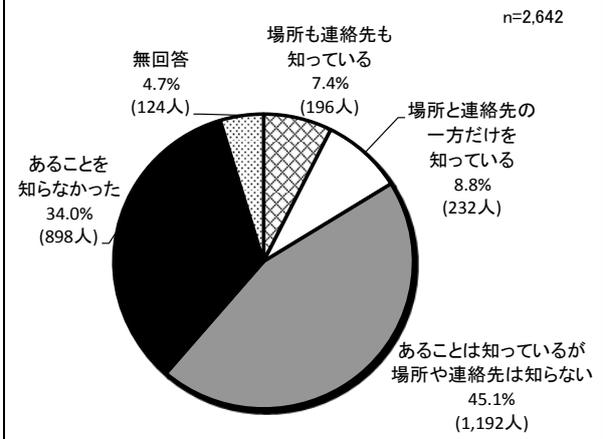
⑲未婚化、晩婚化が進んでいる理由は何だと思いますか？（2つまで選択）

「結婚に対する意識、価値観の変化」が最も多く55.2%、次いで「経済的に余裕がない」が40.7%であった。年代別にみると、40歳代以下では「経済的に余裕がない」の割合が最も高かった。



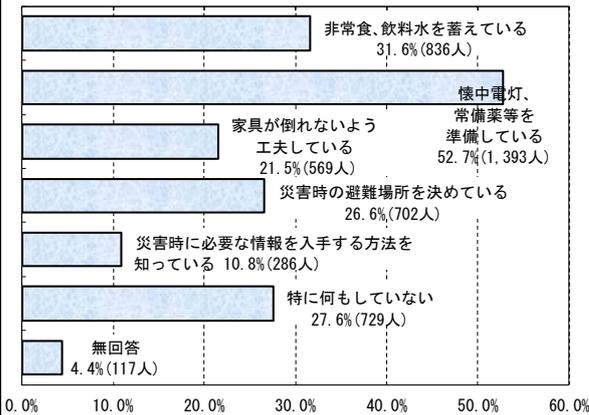
⑳あかし消費生活センターを知っていますか？

「あることは知っているが場所や連絡先は知らない」と「あることを知らなかった」の合計が約8割であった。年代別にみると、年代が上がるにつれて「場所も連絡先も知っている」と「場所と連絡先の方だけ知っている」の合計割合が高くなる傾向にあった。



⑫地震や風水害などの災害に備えて、行っている対策はありますか？（あてはまるものをすべて選択）

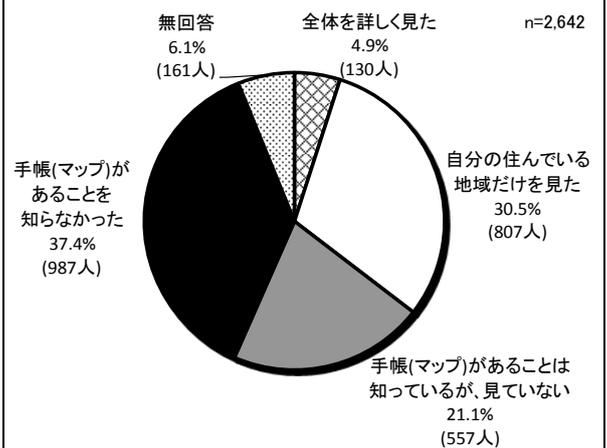
「懐中電灯、常備薬等を準備している」が最も多く52.7%、次いで「非常食、飲料水を蓄えている」が31.6%であった。一方で「特に何もしていない」が27.6%であった。



※割合は、項目ごとの回答者数÷総回答者数（n=2,642）で表しており、複数回答のため合計は100%にならない。

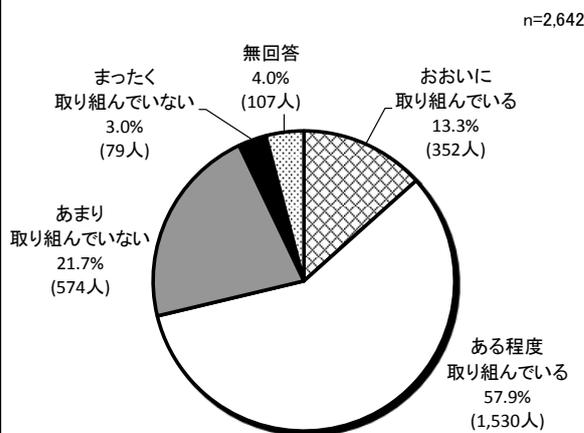
⑬市では「市民『減災』手帳（災害ハザードマップ）」を作成していますが、どの程度見ていますか？

「手帳(マップ)があることは知っているが、見ていない」と「手帳(マップ)があることを知らなかった」の合計が6割弱であった。年代による違いはあまり見られなかった。



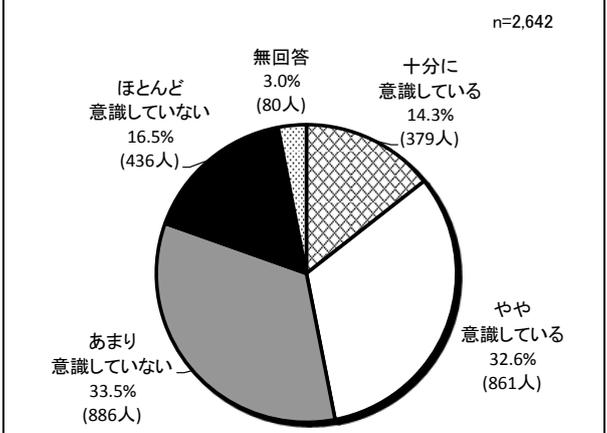
⑭電気、ガス、ガソリンの使用量を減らすなど、普段から省エネ行動に取り組んでいますか？

「おおいに取り組んでいる」と「ある程度取り組んでいる」の合計が約7割であった。年代別にみると、年代が上がるにつれて「おおいに取り組んでいる」と「ある程度取り組んでいる」の合計割合が高くなる傾向にあった。



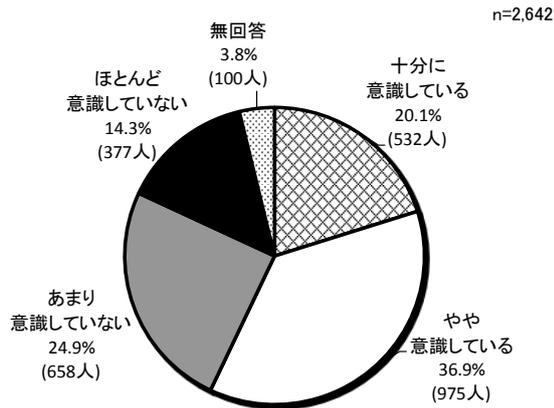
⑮農産物（野菜や果物など）を購入する際に、明石産であることを意識していますか？

「あまり意識していない」と「ほとんど意識していない」の合計が5割であった。年代別にみると、若い年代ほど「十分に意識している」と「やや意識している」の割合が低く、年代が上がるにつれ割合が高くなる傾向にあった。



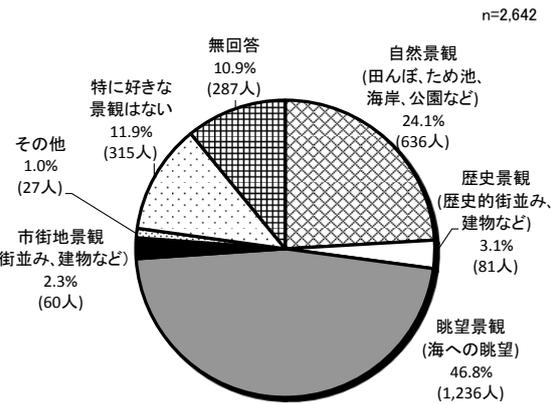
㉓ 水産物（魚やノリなど）を購入する際に、明石産であることを意識していますか？

「十分に意識している」と「やや意識している」の合計が約5.5割であった。年代別にみると、若い年代ほど「十分に意識している」と「やや意識している」の割合が低く、年代が上がるにつれ割合が高くなる傾向にあった。



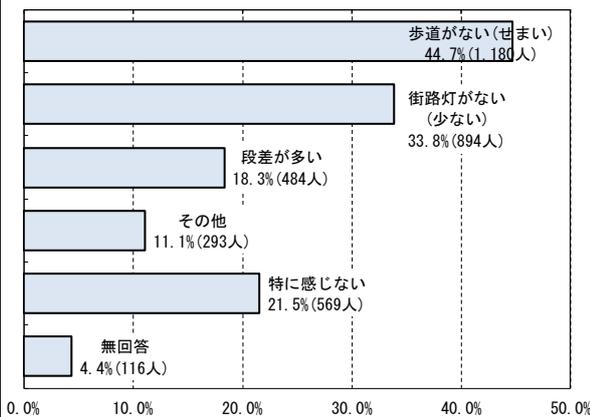
㉔ 市内やお住まいの地域で、好きな景観は何ですか？

「眺望景観（海への眺望）」が最も多く46.8%、次いで「自然景観（田んぼ、ため池、海岸、公園など）」が24.1%であった。年代別にみると、60歳代以上では「自然景観」の割合が若干高かった。



㉕ お住まいの地域の道路で不便と感じるところはどこですか？（2つまで選択）

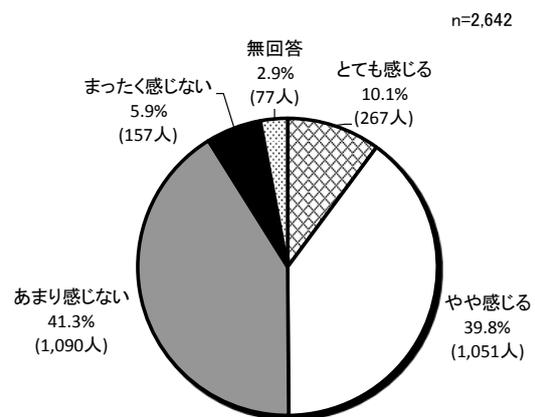
「歩道がない（せまい）」が最も多く44.7%、次いで「街路灯がない（少ない）」が33.8%であった。「その他」の回答内容では、自転車専用道路の整備、道路の拡幅、歩道の整備を求める記述などがあつた。



※割合は、項目ごとの回答者数÷総回答者数（n=2,642）で表しており、複数回答のため合計は100%にならない。

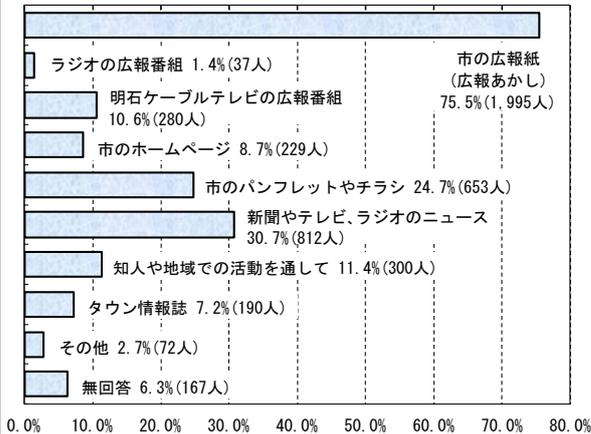
㉖ お住まいの地域には緑が多いと感じますか？

「とても感じる」と「やや感じる」の合計が約5割であった。一方で、「あまり感じない」と「まったく感じない」の合計も5割弱であった。年代による違いはあまり見られなかった。



㉨市の取り組みや計画に関する情報を主に何から得ていますか？（3つまで選択）

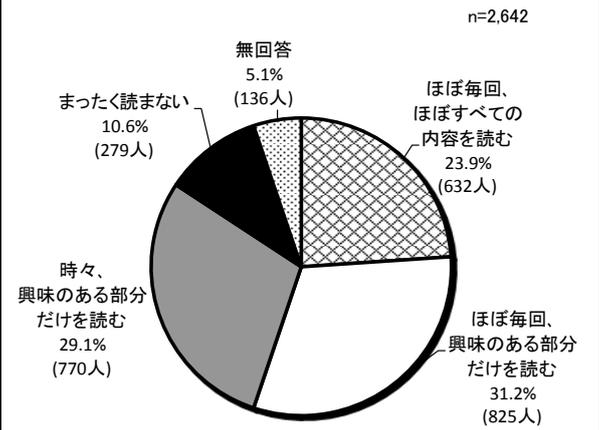
「市の広報紙（広報あかし）」が最も多く75.5%、次いで「新聞やテレビ、ラジオのニュース」が30.7%であった。年代による違いはあまり見られなかった。



※割合は、項目ごとの回答者数÷総回答者数（n=2,642）で表しており、複数回答のため合計は100%にならない。

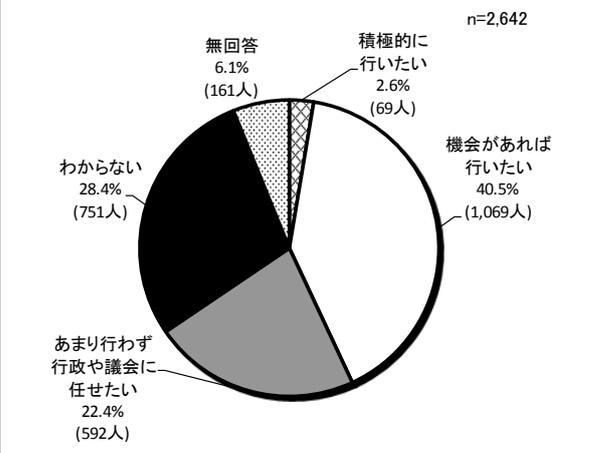
㉩市が月に2回発行している広報紙「広報あかし」をどの程度ご覧になりますか？

「ほぼ毎回、ほぼすべての内容を読む」と「ほぼ毎回、興味のある部分だけを読む」の合計が約5.5割であった。年代別にみると、年代が上がるにつれてその割合が高くなる傾向にあり、70歳代では7割を超えた。



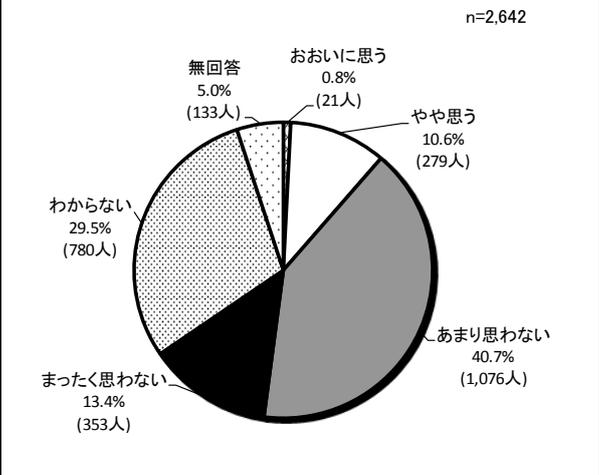
㉪市の計画に意見を出したり、市の取り組みに参加して活動したりすることについてどう思いますか？

「積極的に行いたい」と「機会があれば行いたい」の合計が4割強であった。年代別にみると、30歳代がその割合が最も高く、年代が上がるにつれて低くなる傾向にあった。



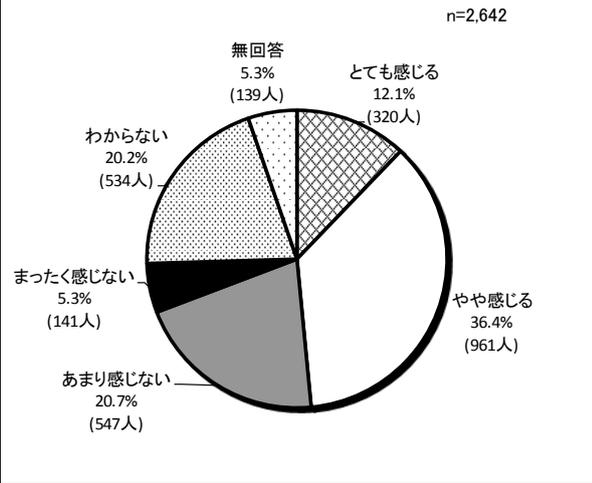
㉫市政への意見を述べる機会が十分に確保されていると思いますか？

「あまり思わない」と「まったく思わない」の合計が約5.5割だった。年代別にみると、40歳代がその割合が最も高く、年代が上がるにつれて低くなる傾向にあった。また、若い年代ほど「わからない」の割合が高かった。



⑬市の窓口サービスについて、適切で気持ちのよい対応がなされていると感じますか？

「とても感じる」と「やや感じる」の合計が約5割であった。年代別にみると、年代が上がるにつれて、その割合が高くなる傾向にあり、70歳代では約6割であった。

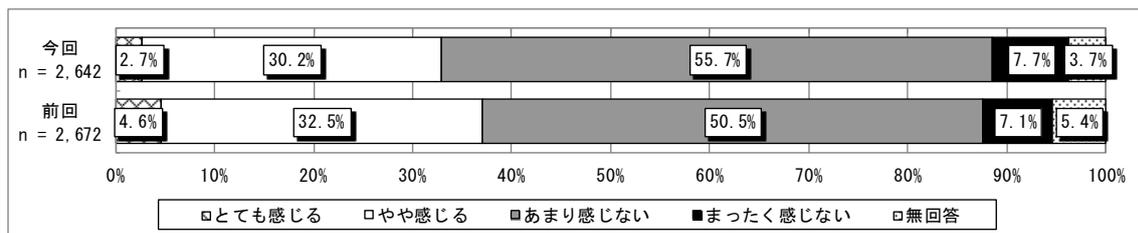


3. 前回比較集計

各設問のうち、前回調査（H24.3～4月実施）と同じ又は同内容のものについて、調査結果の比較を行った。

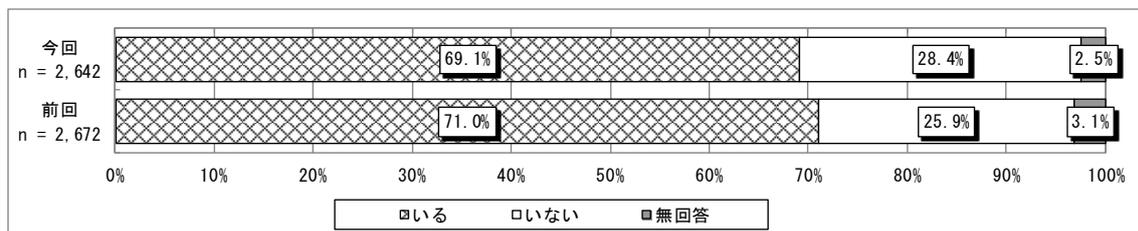
①支援が必要な高齢者や障害者などを地域で支え合う地域福祉活動が推進されていると感じますか？

前回と比較して「あまり感じない」の割合が高くなった。



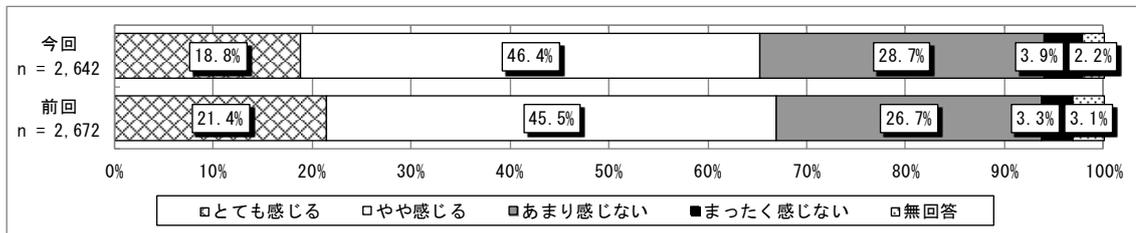
②普段の生活で何か困ったことがあったとき、相談できる人が周りにいますか？

前回と比較して大きな変化は見られなかった。



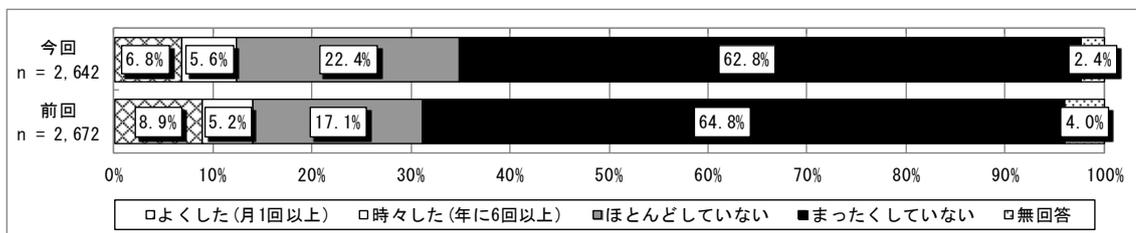
③日々の生活の中で、生きがいを持って暮らしていると感じますか？

前回と比較して大きな変化は見られなかった。



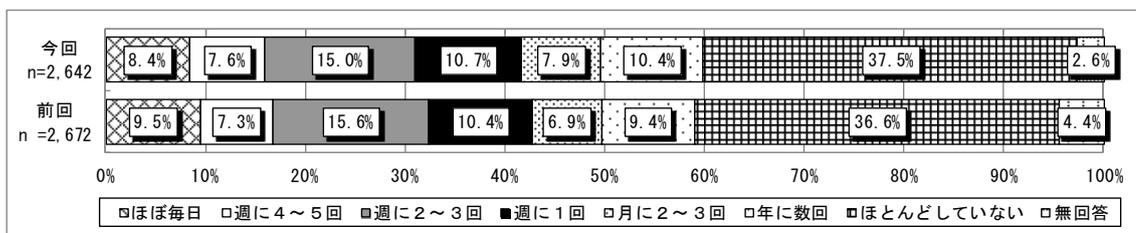
④この1年程度の間、生涯学習活動をしましたか？

前回と比較して「ほとんどしていない」の割合が高くなった。



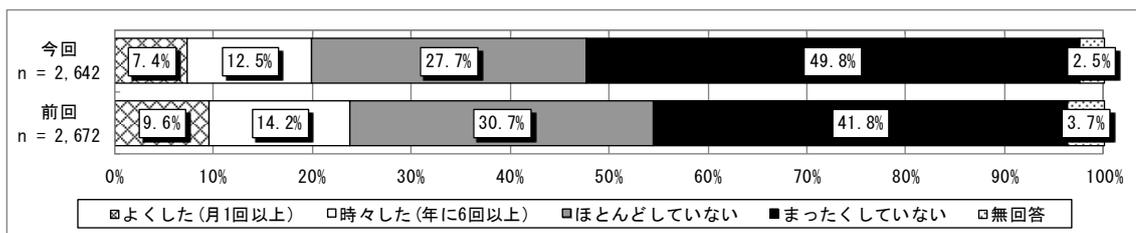
⑤この1年程度の間、スポーツや運動（1回あたり30分程度以上）をしましたか？

前回と比較して大きな変化は見られなかった。



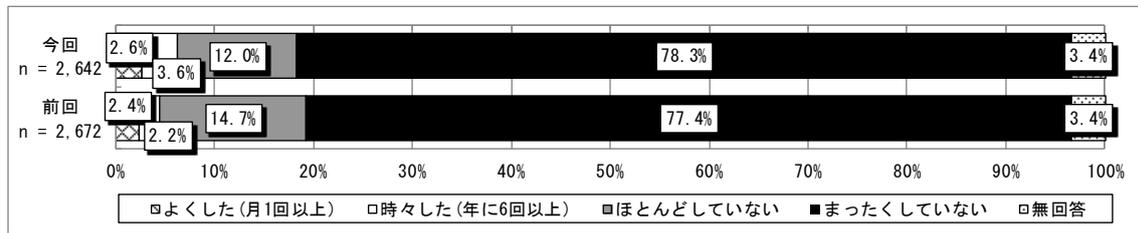
⑦この1年程度の間、文化芸術活動をしましたか？

前回と比較して「まったくしていない」の割合が高くなった。



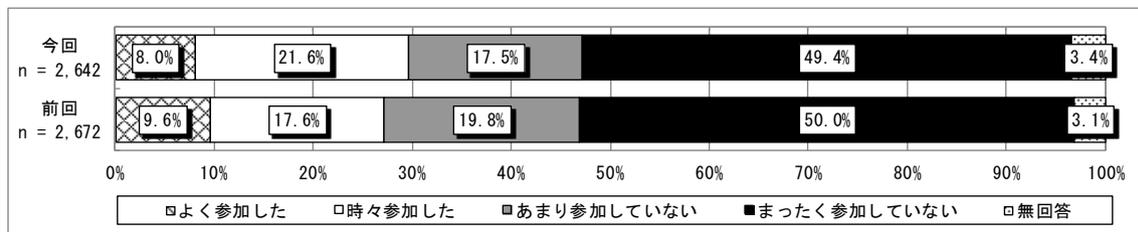
⑧この1年程度の間に、国際交流活動（在住外国人との交流を含む）をしましたか？

前回と比較して大きな変化は見られなかった。



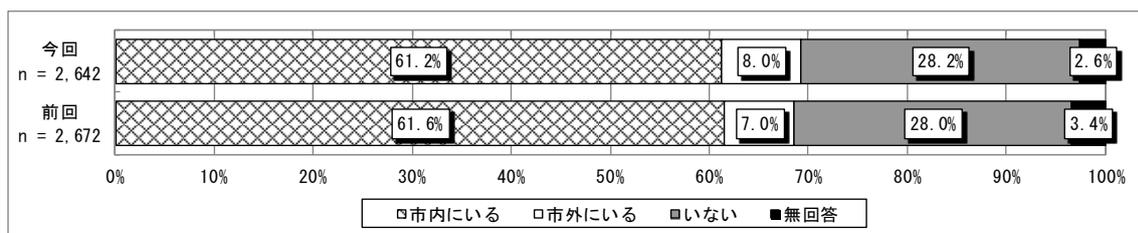
⑨この1年程度の間に、地域のまちづくり活動（自治会活動やボランティア活動など）に参加しましたか？

前回と比較して「時々参加した」の割合が少し高くなった。



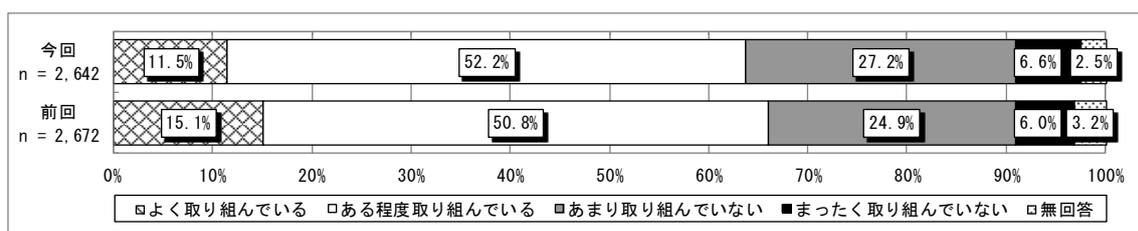
⑩体調が悪い時に診察してもらう「かかりつけ医」がいますか？

前回と比較して大きな変化は見られなかった。



⑪日常生活の中で、健康のためによい生活習慣（食事や運動など）に取り組んでいますか？

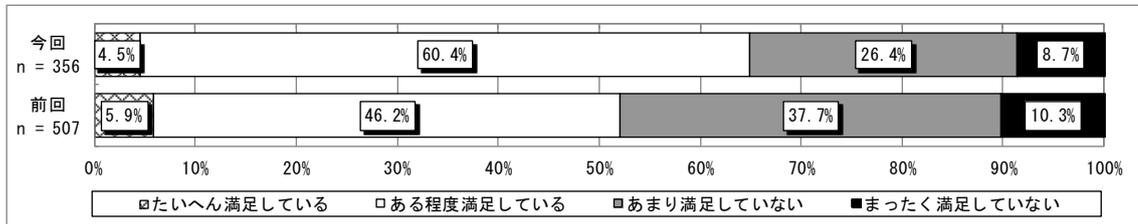
前回と比較して「よく取り組んでいる」の割合が少し低くなった。



⑭市立学校における学習指導に対して満足していますか？

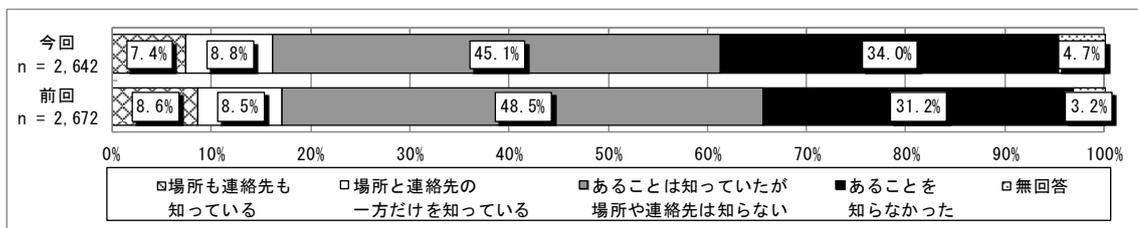
※市立小・中学校、明石商業高校に通学する児童、生徒がいる保護者のみ回答

前回と比較して「ある程度満足している」の割合が大幅に高くなり、「大変満足している」との合計割合も高くなった。



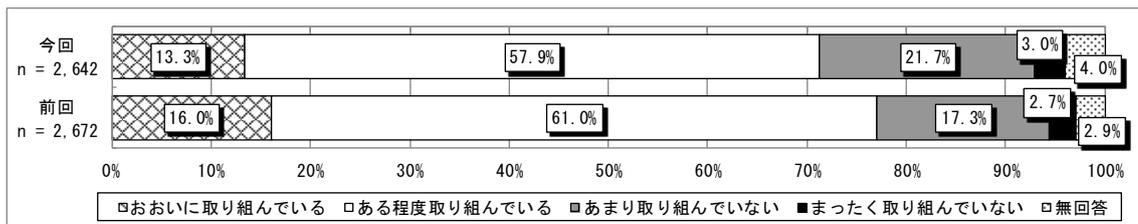
⑯あかし消費生活センターを知っていますか？

前回と比較して大きな変化は見られなかった。



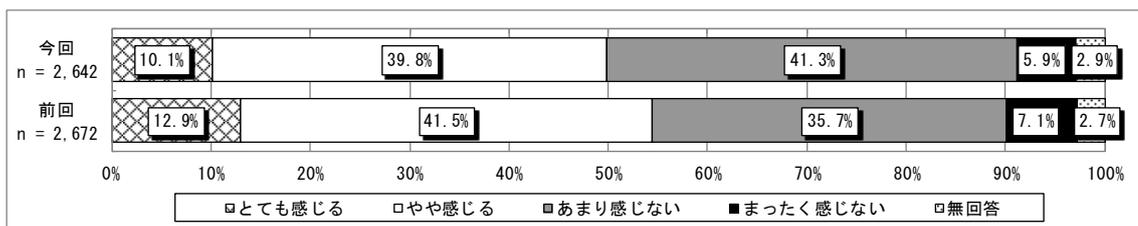
⑰電気、ガス、ガソリンの使用量を減らすなど、普段から省エネ行動に取り組んでいますか？

前回と比較して「おおいに取り組んでいる」、「ある程度取り組んでいる」の合計割合が低くなり、「あまり取り組んでいない」の割合が少し高くなった。



⑱お住まいの地域には緑が多いと感じますか？

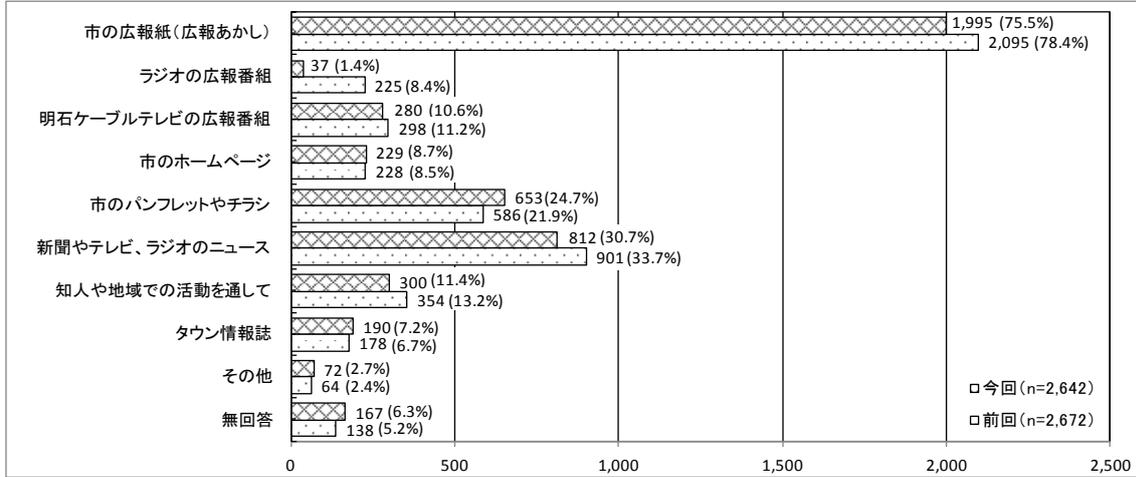
前回と比較して「とても感じる」、「やや感じる」の合計割合が少し低くなり、「あまり感じない」の割合が高くなった。



㊸市の取り組みや計画に関する情報を主に何から得ていますか？（3つまで選択）

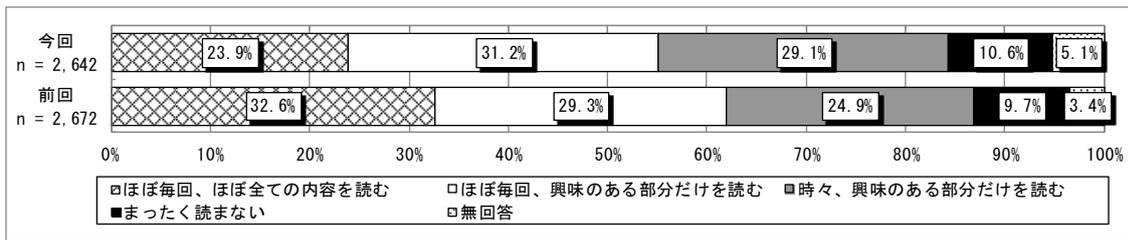
前回と比較して「ラジオの広報番組」の割合が低くなった。

（※前回選択肢は「テレビやラジオの広報番組」。現在、テレビの広報番組は終了している。）



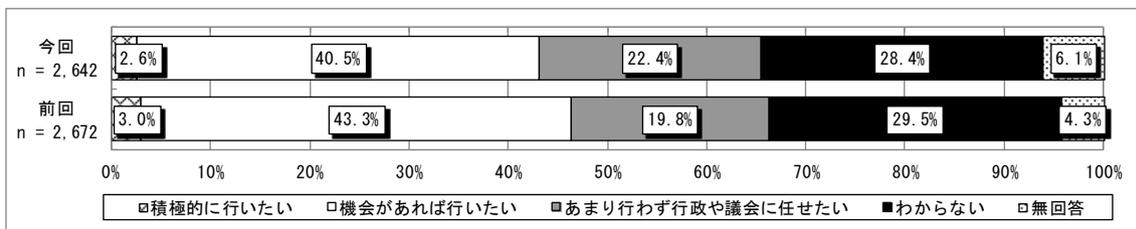
㊸市が月に2回発行している広報紙「広報あかし」をどの程度ご覧になりますか？

前回と比較して「ほぼ毎回、ほぼ全ての内容を読む」の割合が低くなり、「時々、興味のある部分だけを読む」の割合が少し高くなった。



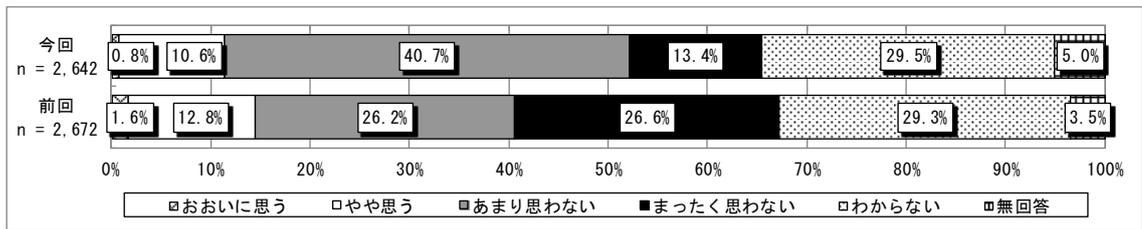
㊸市の計画に意見を出したり、市の取り組みに参加して活動したりすることについてどう思いますか？

前回と比較して大きな変化は見られなかった。



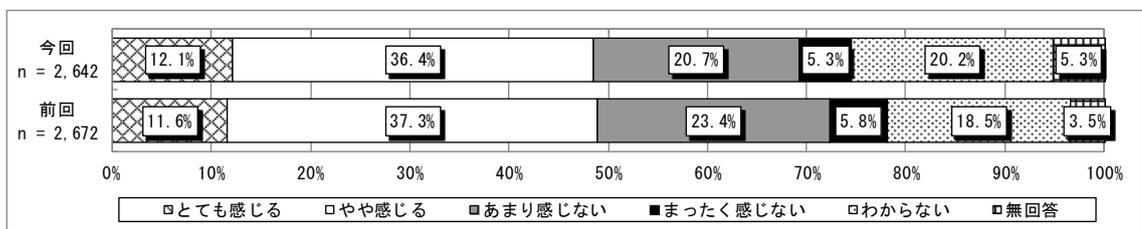
⑬ 市政への意見を述べる機会が十分に確保されていると思いますか？

前回と比較して「あまり思わない」の割合が大幅に高くなる一方、「まったく思わない」の割合が大幅に低くなった。



⑭ 市の窓口サービスについて、適切で気持ちのよい対応がなされていると感じますか？

前回と比較して大きな変化は見られなかった。



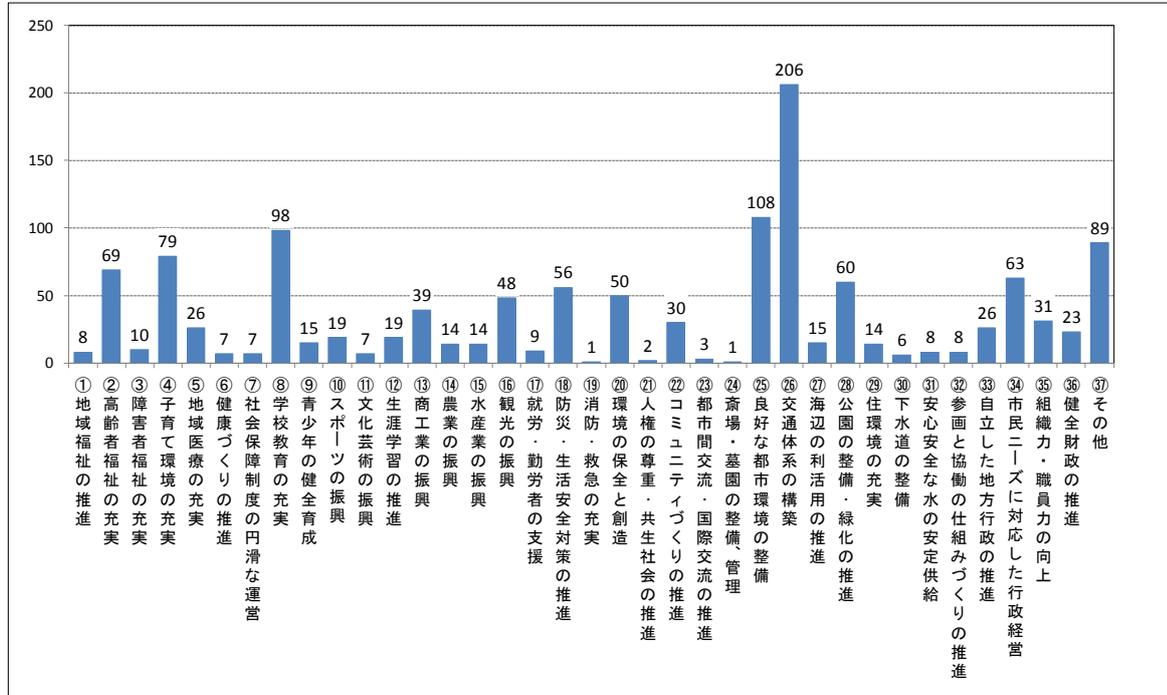
Ⅲ 調査の結果

4) 今後のまちづくりに関するご意見・ご提案について（問5）

1. 結果概要

これからの明石のまちづくりについて自由記述でご意見・ご提案を求めたところ、946名から意見をいただいた。それを施策ごとに分類すると、下図のとおりである（複数の分野に関する意見は、それぞれの件数に計上している。）。

図 今後のまちづくりに関するご意見やご提案の分類



意見の多かった施策分野ごとにその内容を見ると、以下のとおりである。

(1) 交通体系の構築（206件）

コミュニティバス（たこバス）の路線や便数の増を求める意見と、街路灯の整備を求める意見が非常に多かった。また、歩道の拡幅や整備、段差解消、自転車道の整備など道路整備を求める意見も多く見られた。

(2) 良好な都市環境の整備（108件）

明石駅南地区再開発事業の賛否や再開発ビル内の施設・店舗等に関する意見が非常に多かった。また、他の地域の開発を希望する意見も多く見られた。

(3) 学校教育の充実（98件）

中学校給食の実施を求める意見が多かった。そのほか、子どもの学力向上や教員の資質向上を求める意見、市立幼稚園での3年保育の実施や預かり保育の時間延長を求める意見も多く見られた。

(4) 子育て環境の充実（79件）

こども医療費の無料化継続や保育料の軽減など、子育て家庭の経済的負担の軽減を求める意見が多かった。そのほか、保育所の待機児童の解消や子どもが安全に遊べる場所の確保を求める意見も多く見られた。

(5) 高齢者福祉の充実（69件）

一人暮らし高齢者への対応や、医療費や保険料の軽減など経済的負担の軽減、介護施設等の整備を求める意見が多かった。また、気軽に交流や活動できる場の確保を求める意見も多く見られた。

(6) 市民ニーズに対応した行政経営（63件）

広報あかしの配布方法をはじめ、市の取組やイベントに関する情報発信の充実を求める意見が多かった。また、市政に対する意見や要望を伝える機会の拡充を求める意見も多く見られた。

(7) 公園の整備・緑化の推進（60件）

子どもが安全に安心して遊べる場所として、特にボール遊びができる公園の整備を求める意見が非常に多かった。

(8) 防災・生活安全対策の推進（56件）

自動車・バイクの暴走行為の取締りや自転車の運転マナーの向上など交通安全対策の強化を求める意見が多かった。また、防犯のためのパトロールの強化や防犯カメラの設置を求める意見も多く見られた。

(9) 環境の保全と創造（50件）

犬（ペット）の糞の不始末及び歩きタバコ、タバコのポイ捨てに関する意見が多かった。また、ゴミに関して、ポイ捨て・不法投棄やゴミ出しのマナーに対する不満、分別収集の推進や回収日の増加を求める意見も見られた。

(10) 観光の振興（48件）

花火大会の再開を求める意見や魚の棚、明石公園（明石城）、海への眺望といった観光資源の一層の活用、PRを求める意見が多かった。そのほか、ホテルや駐車場、新たな観光施設（道の駅など）の設置を求める意見も見られた。